

第4期宮前区区民会議 総括報告書

【平成24年4月1日～平成26年3月31日】



宮前区の公園環境の活用と
世代間交流を通じた人づくり

平成26年3月

まちづくりは、人づくり

～宮前区の公園環境の活用と世代間交流を通じた人づくり～

第3期までの宮前区区民会議の審議からは、身近な地域でお互いを見守る「ご近所サークル」、子どもがのびのびと自由に遊ぶ「冒険遊び場」、区の歴史資源を楽しみながら学ぶ「みやまえカルタ」、起伏が多い地形を活かした健康づくり「坂道ウォーキング」、転入者向けの情報誌「ぐるっとみやまえ」など、様々な住みよいまちの実現や地域課題解決に資する取組が提案され、実践されてきました。

これらの経緯を受けながら第4期の審議を進める中で、改めてポイントとなってきたのは、「地域の担い手をいかに育てていくか」ということでした。

スポーツの推進や花・緑・川などの豊かな環境の活用などをテーマに審議を始めた「環境を活かした人づくり部会」では、特に身近な公園をもっと活用し、いかにより多くの区民の参加や連携の場とするかに議論が収束してきました。

町内会・自治会・子ども会の活性化、子育て親の地域意識醸成、学校と地域が連携した子どもの教育支援、定年後の生きがい探しなどをテーマに審議を始めた「心を育てる地域と世代部会」では、いかに子どもたちを豊かに育てるか、区民が互いに助け合う環境をつくっていくか、伝統文化や歴史を未来に伝えていくかを検討する中で、これらの課題を「心を育む」という言葉で包括的に捉え、そのために何より大切な「世代間交流」を進める取組に議論が収束してきました。

両部会共通して、繰り返し議論された課題が「新たな人材の発掘」と「参加へのきっかけづくり」です。地域に関わるきっかけや経験がない区民の中に、まだまだ素晴らしい知識や技術、可能性や思いをもった区民がいるはずだとの認識が強く共有されています。

どんなに良い提案であっても、それを地域で実践する区民がいなければ、生きたものにはなりません。更に実践を継続させるためには、多様な世代や新たな人材をその輪に加え、共有し、引き継いでいくことが必要です。様々な市民活動団体から代表が参加している区民会議ですが、既存の団体やそれらに関わっている区民に留まらず、新たな区民を巻き込んでいくことが、今後の発展、継続のために、何より重要となっていくと考えます。

第4期区民会議の提案が生きたものとなるかどうかは、これからです。任期が終わっても、それぞれの活動団体や地域の現場で、行政や企業と連携を図りながら、より多くの区民の方々と手を取り合って、誰もが暮らしたいと思える地域の実現にこれからも努めてまいります。

第4期宮前区区民会議

委員長 直本 享子



第1章 第4期宮前区区民会議の審議経過

1. 審議課題の選定過程	4
2. 全体会開催経緯（審議課題決定以降）	5
3. 企画部会開催経緯	6
4. 環境を活かした人づくり部会開催経緯	8
5. 心を育てる地域と世代部会開催経緯	10



第2章 環境を活かした人づくり部会からの提案

1. 審議テーマ	13
2. 背景（審議テーマに関わる「宮前区の今」）	13
3. 宮前区の課題	14
4. 目指す方向性と目標	15
5. 提案	16
取組①：宮前区マイパーク・ネット（仮）の設置	17
取組②：公園に関する情報の発信・共有	19
取組③：公園のコミュニケーション機能強化支援	20
取組④：樹木・草花名プレートの設置・活用	21
取組⑤：冒険遊び場の推進	22
取組⑥：公園体操の拡大開催	23
取組⑦：ネイチャーゲームの普及	24
取組⑧：地域が主体となった公園管理の促進	25



第3章 心を育てる地域と世代部会からの提案

1. 審議テーマ	26
2. 背景（審議テーマに関わる「宮前区の今」）	26
3. 宮前区の課題	27
4. 目指す方向性と目標	28
5. 提案	29
取組①：世代間交流に資する市民活動へのサポート	30
取組②：世代間交流を推進するキャンペーン展開	32
取組③：世代間で交流する対話の場を企画	34

取組④：アーカイブ事業の実施	36
申送り①：学校支援センターの機能強化	37
申送り②：「チャレボラ」交流会の開催等	38
申送り③：ボランティアコーディネーターの育成	39



第4章 第4期宮前区区民会議フォーラム

1. 企画概要	40
2. 開催結果	41



第5章 第5期以降に向けて

1. 委員アンケート結果概要	44
----------------	----



資料編

1. 審議課題一覧 選定過程整理表	46
2. 第4期宮前区区民会議 委員名簿	48
3. みやまえ区民会議だより	49



第1章 第4期宮前区区民会議の審議経過

1. 審議課題の選定過程

①事前打合せ会 (平成24年5月9日・水・18:00～・19名・区役所4階大会議室)	
オリエンテーション	区民会議の概要・制度等の説明
アンケート調査実施	地域課題把握アンケートで各委員が感じている地域課題を調査
②第1回宮前区区民会議 (平成24年5月22日・火・18:00～・19名・区役所4階大会議室)	
課題抽出	8分野 47課題抽出 アンケート結果から抽出された8分野47課題の発表 各課題の提案者から内容を説明
③第1回準備部会 (平成24年6月12日・火・18:15～・16名・保健福祉センター1階集団教育ホール)	
課題絞り込み	47→39課題 内容が重複していた課題の統合
	39→28課題 「対応中の課題」「地域での課題解決が困難な課題」「要望に留まってしまう課題」など11課題を除外
	28→9課題 委員による投票を実施。得票の多かった課題を選出
④第2回準備部会 (平成24年7月10日・火・18:15～・17名・保健福祉センター1階集団教育ホール)	
課題分類	関連取組説明 9課題に関連する既存の区や市の取組の紹介
	9→8課題 「地産地消の推進」を取組進行中であることから除外
	課題を2分類 「環境を活かした人づくり」「地域間・世代間の交流を深める」
⑤第2回宮前区区民会議 (平成24年8月27日・月・18:15～・20名・区役所4階大会議室)	
審議開始	テーマアンケート 各委員に希望テーマのアンケート
	提案取組事例紹介 第1期～3期の区民会議提案が実行された事例の紹介
	部会立上げ 2つの専門部会の立上げ

環境を活かした人づくり部会 (11名)

【審議テーマ】

- ①スポーツの推進
- ②花・緑・川など身近な環境
- ③区民主体のお祭り

心を育てる地域と世代部会 (10名)

【審議テーマ】

- ①町内会・自治会・子ども会の活性化
- ②子育て親の地域意識醸成
- ③子どもの教育の支援
- ④定年後の生きがい探し
- ⑤孤独死・孤立死問題

※審議課題の一覧については、資料編をご覧ください。

2. 全体会開催経緯（審議課題決定以降）

全体会では主に各専門部会の経過報告と意見交換、区民会議フォーラムの企画検討などの他、宮前区地域課題対応事業の情報共有、委員の出身団体の活動紹介など、協働や自治に関わる情報提供もありました。

【平成 24 年度】

⑥第 3 回宮前区区民会議（平成 24 年 11 月 20 日・火・18：15～・17 名・区役所 4 階大会議室）

■専門部会審議経過報告・意見交換

■区民会議フォーラム企画案について…ウォークラリー企画概要など

⑦第 4 回宮前区区民会議（平成 25 年 2 月 13 日・水・18：15～・17 名・区役所 4 階大会議室）

■専門部会審議経過報告・意見交換

■区民会議フォーラム実施計画

【平成 25 年度】

⑧第 5 回宮前区区民会議（平成 25 年 5 月 15 日・水・18：15～・15 名・区役所 4 階大会議室）

■中間報告書の完成の報告

■専門部会審議経過報告・意見交換

■区民会議フォーラムふりかえり

⑨第 6 回宮前区区民会議（平成 25 年 8 月 5 日・月・18：15～・16 名・区役所 4 階大会議室）

■専門部会審議経過報告・意見交換

■区民会議フォーラムの日程・企画内容

⑩第 7 回宮前区区民会議（平成 25 年 11 月 20 日・水・18：15～・17 名・区役所 4 階大会議室）

■提案書のまとめ

■区民会議フォーラムの企画

⑪第 8 回宮前区区民会議（平成 26 年 2 月 12 日・木・18：00～・18 名・区役所 4 階大会議室）

■区民会議フォーラムの企画・役割分担

■第 4 期宮前区区民会議のふりかえり

3. 企画部会開催経緯

企画部会は、委員長、副委員長、各専門部会部会長が集まり、各専門部会の審議状況の確認、全体会の議事進行の検討、フォーラム実施案の検討などを審議内容として開催しました。また平成25年12月12日には、各専門部会の審議からまとめられた「第4期宮前区区民会議提案書」を区長に提出しました。

【平成24年度】

① **第1回企画部会**（平成24年8月10日・金・17:30～・4名・区役所4階第1会議室）

- 第2回全体会の議事・進行
- 審議課題の絞り込み方法について

② **第2回企画部会**（平成24年9月12日・水・18:00～・4名・区役所4階第3会議室）

- 第1回専門部会議事内容
- 今後の審議の進め方

③ **第3回企画部会**（平成24年11月1日・木・18:00～・5名・区役所4階第3会議室）

- 第1・2回専門部会進捗状況
- 第3回全体会議事・進行

④ **第4回企画部会**（平成25年1月17日・木・16:00～・5名・区役所1階地域振興課内会議室）

- 第4回全体会議事・進行
- 区民会議フォーラムの企画検討

【平成25年度】

⑤ **第5回企画部会**（平成25年5月7日・火・18:00～・5名・区役所4階第1会議室）

- 第5回全体会の議事・進行
- 専門部会進捗状況・今後の進め方

⑥ **第6回企画部会**（平成25年7月24日・水・18:15～・5名・区役所4階第1会議室）

- 第6回全体会の議事・進行
- 専門部会進捗状況・今後の進め方

⑦**第 7 回企画部会**（平成 25 年 11 月 6 日・水・18：15～・5 名・区役所 4 階第 2 会議室）

- 専門部会進捗状況・今後の進め方
- 第 7 回全体会の議事・進行
- 区民会議フォーラムの企画

⑧**第 8 回企画部会**（平成 25 年 11 月 26 日・火・18：15～・5 名・区役所 4 階第 4 会議室）

- 提案書案の審議、提出に向けた確認等
- 区民会議フォーラムの企画

⑨**第 9 回企画部会**（平成 25 年 12 月 12 日・木・13：00～・5 名・区役所 4 階第 1 会議室）

- 第 4 期宮前区区民会議提案書の区長への提出
- 区長と意見交換

⑩**第 10 回企画部会**（平成 26 年 1 月 15 日・水・18：00～・5 名・区役所 4 階第 2 会議室）

- 区民会議フォーラムの企画

⑪**第 11 回企画部会**（平成 26 年 1 月 31 日・金・18：15～・5 名・区役所 4 階第 4 会議室）

- 第 8 回全体会の議事・進行
- 区民会議フォーラムの企画

⑫**第 12 回企画部会**（平成 26 年 3 月 3 日・月・18：00～・4 名・区役所 4 階第 2 会議室）

- 区民会議フォーラム最終確認



4. 環境を活かした人づくり部会開催経緯

計 12 回開催し、審議テーマに関する地域課題の把握、課題解決の提案内容について審議しました。

また、宮前区の自然・緑を活かした市民活動の現場と現状を理解するための現場見学会も開催しました。

【平成 24 年度】

①**第 1 回専門部会**（平成 24 年 9 月 20 日・木・18：15～・9 名・区役所 4 階第 2 会議室）

- 部会審議スケジュール・部会の目指すもの
- 区内先進事例（水沢森人の会、野川はあも など）
- 部会長選出…佐々木部会長を互選で選出

②**第 2 回専門部会**（平成 24 年 10 月 4 日・木・18：15～・9 名・区役所 4 階第 1 会議室）

- 既存の活動に関する情報・意見交換
- 今後の進め方…区内事例見学会の開催を決定

現地見学会：水沢の森見学ツアー（平成 24 年 10 月 21 日・木・11：00～・5 名）

菅生緑地西地区（宮前区市民健康の森）の活動現場見学（任意参加）
区民祭プログラムとして行われていた企画に参加。芋ほりや竹コップづくりも体験。

現地見学会・部会企画ツアー（平成 24 年 11 月 14 日・木・9～12 時・9 名）

宮崎第 4 公園、宮崎台コミュニティーガーデン、宮崎台駅前桜並木、東名川崎 IC 前花壇、とんもり谷戸、平瀬川、鷺沼駅前桜並木。各活動団体関係者の説明を受ける。

③**第 3 回専門部会**（平成 24 年 12 月 6 日・木・18：15～・9 名・区役所 4 階第 1 会議室）

- 区内事例見学会ふりかえり
- 課題と取組の方向性…事例：樹木オーナー制度、花壇を増やす取組など



④**第4回専門部会**（平成24年12月17日・月・18:00～・8名・区役所4階第1会議室）

■緑に関わる行政計画…「川崎の公園」「川崎市緑の基本計画」など

■ワークショップ…身近な緑の情報共有 大きな地図に公園・緑地・並木・花壇など

⑤**第5回専門部会**（平成25年3月1日・金・18:15～・10名・区役所4階第2会議室）

■区民会議交流会報告

■事例紹介…まち協の花と緑の委員会、川崎市公園緑地協会の講座など

■提案の検討

【平成25年度】

⑥**第6回専門部会**（平成25年4月8日・月・18:15～・10名・区役所4階第1会議室）

■提案の検討…各委員からの提案を協議

※関係者出席：区道路公園センター協働推進担当課長

⑦**第7回専門部会**（平成25年6月4日・火・18:15～・9名・区役所4階第1会議室）

■提案の検討…既存の取組内容

以降、「公園の維持・管理・活用」を優先的に検討することを投票で決定

⑦**第8回専門部会**（平成25年7月3日・水・18:15～・8名・区役所4階第1会議室）

■提案の検討…公園の維持・管理・活用、区民会議のあり方 ほか

※関係者出席：区道路公園センター協働推進担当課長

⑨**第9回専門部会**（平成25年9月3日・火・18:15～・9名・区役所4階第1会議室）

■提案の検討…公園の維持・管理・活用、樹木名プレート、冒険遊び場、公園体操、ネイチャーゲーム ほか

⑩**第10回専門部会**（平成25年10月1日・火・18:15～・8名・区役所4階第2会議室）

■提案の検討…マイパーク・ネットイメージほか

※関係者出席：区道路公園センター協働推進担当課長

⑪**第11回専門部会**（平成25年10月21日・月・18:15～・8名・区役所4階第2会議室）

■提案の検討…マイパーク・ネットに付随する各取組ほか

⑫**第12回専門部会**（平成26年3月15日・土・13:30～・9名・区役所4階大会議室）

■区民会議フォーラムでの報告等

5. 心を育てる地域と世代部会開催経緯

計 12 回開催し、審議テーマに関する地域課題の把握、課題解決の提案内容について審議しました。

また、区内小学校における地域との連携・交流、地域人材の活用現況を把握するため、区内の市立小学校全 17 校を対象としたアンケート調査を平成 24 年度内に実施しています。

【平成 24 年度】

①**第 1 回専門部会**（平成 24 年 9 月 25 日・火・18：15～・9 名・保健福祉センター1 階集団教育ホール）

- 審議テーマ、課題と取組の方向性
- 部会長選出…大槻部会長を互選で選出

②**第 2 回専門部会**（平成 24 年 10 月 16 日・火・18：15～・8 名・区役所 4 階第 1 会議室）

- 区内「わくわくプラザ」運営現況報告
- 先進事例紹介…コミュニティスクール（福岡県飯塚市）、学区連絡協議会（名古屋市）、PTA主催インターンシップ（福岡県福津市）など
- 取組の方向性…小学校・地域連携の現状把握のためにアンケート調査の実施を決定

③**第 3 回専門部会**（平成 24 年 12 月 12 日・火・18：15～・10 名・区役所 4 階第 1 会議室）

- 学校支援センター活用状況
※関係者出席：区こども支援室学校・地域連携担当課長
- 小学校と地域の連携活動アンケート調査結果
- 先進事例紹介…自治会加入促進マニュアル（室蘭市）、地域コミュニティ活性化事業（多摩区）など
- 提案の検討

④**第 4 回専門部会**（平成 25 年 1 月 10 日・木・18：00～・8 名・区役所 4 階第 3 会議室）

- 事例紹介…川崎市自治会加入勧誘資料 ほか
- 提案の検討…「心の教育」がキーワードとしてあげられる。

⑤**第 5 回専門部会**（平成 25 年 3 月 8 日・金・18：15～・10 名・区役所 4 階第 1 会議室）

- 区民会議交流会報告
- 提案の検討…既存の連携活動や世代間交流の場の目指していくイメージなど
- 部会名称…「心を育てる地域と世代部会」に決定

【平成 25 年度】

⑥**第 6 回専門部会**（平成 25 年 4 月 17 日・水・18：15～・10 名・区役所 4 階第 1 会議室）

■現状把握…夏休み子ども遊びランド、学校支援センター

※関係者出席：区生涯学習支援課長、区こども支援室学校・地域連携担当課長

■区民会議フォーラムふりかえり

⑦**第 7 回専門部会**（平成 25 年 5 月 28 日・火・18：15～・8 名・区役所 4 階第 1 会議室）

■提案の検討…課題の再認識、提案の方向性などイメージの共有

⑧**第 8 回専門部会**（平成 25 年 7 月 2 日・火・18：15～・10 名・区役所 4 階第 1 会議室）

■提案の検討…既存イベントへの世代間交流企画追加、プログラム開発、アーカイブ事業の実施 ほか

⑨**第 9 回専門部会**（平成 25 年 8 月 20 日・火・18：15～・9 名・区役所 4 階第 1 会議室）

■提案の検討…世代間交流の対話プログラム検討 ほか

学校支援センター機能強化、チャレボラ交流会等 →申し送り事項へ

⑩**第 10 回専門部会**（平成 25 年 9 月 26 日・火・18：15～・10 名・区役所 4 階第 2 会議室）

■「風の泉」ヒアリング、支援策検討

※関係者出席：風の泉メンバー 2 名

■提案の検討…世代間交流キャンペーン ほか

⑪**第 11 回専門部会**（平成 25 年 10 月 16 日・水・18：15～・8 名・区役所 4 階第 2 会議室）

■最終報告書・部会提案のまとめ…世代間交流キャンペーン、アーカイブ事業 ほか

⑫**第 12 回専門部会**（平成 26 年 3 月 15 日・土・13：30～・9 名・区役所 4 階大会議室）

■区民会議フォーラムでの報告等

区内全 17 小学校における地域との連携・交流・地域人材の活用 現況調査 結果概要

1. 授業内における地域との連携・交流、地域人材の活用（カッコ内 実施校数）

- 伝承遊び（14校）、農業体験（14校）、社会科見学・職業体験（9校）、伝統文化体験（8校）などの実施校が多い。
- 音楽鑑賞や楽器や合唱の指導、そろばん、英語、水泳、図工などの授業で専門的な技術や知識をもった地域の人材を活用している例（12校）
- その他、郷土史のお話、福祉教育、自然教育、国際交流、クラブ活動支援など、多分野・多岐にわたり、実施されている。

2. 授業外における地域との連携・交流、地域人材の活用（カッコ内 実施校数）

- バザーやフェスティバル等のイベント（13校）、登下校時等のパトロール活動（9校）、交通安全教室（7校）などの実施例が多い。
- PTAやおやじの会などが積極的に活動を展開している事例がある。
- その他美化活動、福祉交流、あいさつ運動、学校行事支援などの例もある。

3. 学校から地域への広報活動

- 学校だよりの発行が全17校で行われ、行事予定、学校の様子、ボランティア募集などの情報が掲載されており、保護者配布や町内会回覧などで地域にも公開されている。発行頻度は月1回～年3回程度。
- その他ホームページ、公開事業、行事公開等が行われている。

4. 地域との連携・交流の障害や課題となっているもの（カッコ内 回答のあった校数）

- 複数選択式で回答いただいたところ、財源の不足（12校）、時間の不足（10校）、教職員の負担（7校）を挙げた学校が多い。その他手続きの複雑・面倒さ（4校）、地域資源・人材の情報の不足（4校）を挙げた学校もある。

【全体総括】

- 想像していたよりも、多様・多岐にわたる事例があり、かなり地域人材の活用が進んでいると感じた。
- PTAやおやじの会などの活動が盛んなのは宮前区の財産である。
- ただし、連携・交流という意味では、個人・個別レベルでのつながりが多く、今後発展性や地域全体の認知、ニーズとボランティアのマッチングやコーディネートという意味では、まだまだ課題があると感じた。
- 学校側は財源や時間の不足を課題と感じており、学校側に現状以上の活動をお願いすることは現実的ではなさそう。



第2章 環境を活かした人づくり部会からの提案

1. 審議テーマ：環境を活かして人を育てる

- (1) スポーツの推進
- (2) 花・緑・川など身近な環境の活用
- (3) 区民主体のお祭り

2. 背景（審議テーマに関わる「宮前区の今」）

■スポーツ・健康づくりの推進強化

- ・ 2006年に宮前スポーツセンターがオープンし、2009年に区内初となる地域主体の総合型地域スポーツクラブ「菅生スポーツコミュニティクラブ」が立ち上げられました。2010年からは区役所にスポーツ推進担当のポストが設けられ、多様なスポーツ関連事業を実施しているなど、近年、区内でのスポーツを取り巻く環境には様々な変化が見られます。
- ・ 急速に進む高齢化の中で、これまで区民会議から提言がなされた公園体操の推進（第1期）、坂道ウォーキングの推進（第3期）などの取組も一定の進捗が見られています。公園体操は当初の数団体から40を超えるまでに発展。坂道ウォーキングもガイドの冊子が発行され、「フロントウンさぎぬま」で開催される教室へも着実に参加者が見られることなどから、健康づくりに関する区民意識の高まりが窺えます。

■豊かな自然環境

- ・ 宮前区は多摩丘陵上に位置し、起伏に富んだ自然豊かな地域です。平瀬川、矢上川、有馬川などの河川、生田緑地や菅生緑地、東高根森林公園等豊かな環境資源に恵まれており、計205の公園・緑地は区民に身近な憩いの場として整備されています。これらの資源を場やテーマとした市民活動も盛んです。
- ・ 「かわさき市民アンケート（2011年10月）」においても、生活環境満足度の1位に「公園や緑の豊かさ（宮前区70.0%…全市平均63.1%）」が挙げられるなど豊かな自然は区民も広く認識するところです。
- ・ バス路線の影響等により、区内田園都市線3駅の外、溝の口・新百合ヶ丘・向ヶ丘遊園・たまプラーザ・武蔵小杉等に生活圏が拡散し、区内の豊かな自然の財産が広く区民に認知・活用されていない現状もあります。



自然豊かな飛森谷戸

■次世代の担い手不足の懸念

- ・ 伝統行事や祭事が各地域で開催されていますが、これらに参加するだけでなく、担い手として積極的に関与し、地域で活躍する次世代の人材の確保、育成が求められています。
- ・ 区内に数多くある様々な市民活動において、次世代の担い手の確保・育成がうまくゆかず、メンバーが固定化・高齢化する例が見られます。
- ・ 町内会・自治会は、加入率が平成18年度から約4%減少しており、今後の弱体化も懸念されています。

3. 宮前区の課題

部会審議の中で重要視されてきたのが、宮前区の特徴である自然や近年活性化しているスポーツ事情といった地域の環境を活かした、「地域で活躍する人づくり」でした。その「場」として、区民誰しも身近にあるであろう「公園」に議論を絞りこみ、審議を進めることとしました。

「公園」について共有された「解決すべき地域課題」と、主な意見は以下のとおりです。

課題：公園管理・活用に区民が参加しやすくなる仕掛けの不足

- ・ 「参加したら楽しそう」と思わせる情報発信がなされていないのではないか。
- ・ 公園の花壇づくりなどに興味があっても、誰が管理しているかわかりにくいいため、なかなか参加するきっかけが無い。
- ・ 道路公園センターに問い合わせれば、管理の方法や既存管理団体の情報等も得られるが、そこまでする人は少ないのではないか。
- ・ 報奨金や草刈機の貸し出しなど、行政が実施している支援メニューが周知されるだけでも区民参加のきっかけになりそうだ。

課題：新たに公園管理団体を発足してもらおう難しさ

- ・ 区内 205 公園のうち、市民による管理組織のない公園が 64 公園（約 31%）存在（平成 25 年 10 月現在）する。
- ・ 公園の清掃や維持管理、利用調整などが区民によって担われていることが、一般区民にあまり知られていないのではないか。
- ・ 町内会等の運営に積極的に関わっている人以外へは市からの管理組織設置依頼の情報が届いていないことも考えられる。
- ・ 市が地域の町内会・自治会にお願いをするという従来のやり方だけでは、新たな公園管理団体の立ち上げは難しい状況にきているのではないかと。町内会・自治会が運営に負担感等を感じているケースもあるようだ。
- ・ 公園体操や外遊びで公園を利用する区民、花壇づくりが好きな区民等に積極的に呼びかけることにより、新たな担い手となる人材の発掘ができるのではないかと。
- ・ 公園によってはゴミが散乱するなど荒廃しているところも見られる。

課題：既存の公園管理団体の負担感や後継者問題

- ・ 今後、既存の管理団体では高齢化や参加人数の減少など、活動の停滞や団体解散の危機も考えられる
- ・ 活発な活動を継続するには資金の安定的な確保が必要。各種助成金の申請などが負担になっている。区との連携の中から継続的な資金の確保を検討できないか。
- ・ 後継者問題の原因として既存の団体に途中から入る難しさがある。新たなメンバーを受け入れてくれるのか、といった不安感などからアプローチしにくい現状も。
- ・ うまく代替わりしている公園や、地域を巻き込みながら清掃をする、広報紙を配るなどの工夫をしている公園もあるので、そのノウハウを共有していけると良い。

課題：公園の持つコミュニティ機能の更なる活性化

- ・ 第2期区民会議で子どもの健全育成と公園の活用などを図る取組として、子ども達が自己責任の元で自由に遊ぶ「冒険遊び場」が提案された。現在、区内4箇所の公園で地域住民により、「冒険遊び場」が展開されている。
- ・ 「街区公園等の管理運営に関する要綱」において、「コミュニティの核としての公園利活用」が示されているが、日常管理で手一杯な面もあり、そこまでの運用がなされていない。
- ・ 公園体操やゲートボール、自主保育など、様々な活動の場として活用されている公園もあるが、コミュニティの核として活用するにはこれら活動同士の横のつながりがあることが望ましい。
- ・ 公園間のネットワークとして管理団体同士で連合会を形成し、広報誌を発行している五所塚町内会の例もある。
- ・ 周辺住民の高齢化が進み、子供がいなくなったことで使われていない小さな公園もある。活用方法を考えないともったいない。

4. 目指す方向性と目標

部会では「コミュニティの核としての公園利活用」が達成されることで、地域コミュニティが活性化し、人づくりに結びつくと考えました。そのためには市民への意識づけ、公園管理・活用団体への各種ノウハウの共有、団体間ネットワークの推進などが求められます。

それらを具体化するために取り組みを検討する上で、「目指す方向性」と「目標」を以下のように決めました。

■ 目指す方向性

公園をコミュニティの核として活用することで、地域で活躍する「人づくり」をする

■ 目標

公園を活用することで

- ・ 地域で活躍する「人」を育てよう
- ・ 地域住民のコミュニティ活動を活性化しよう
- ・ 緑化を推進しよう

スポーツの推進、身近な緑の保全、公園花壇づくりなど、地域の環境を活かしながらそれを通じて地域で活躍する「人づくり」をする

5. 提案

提案

- A 公園の管理・活用活性化に向けた環境整備をする ……P17-20
 B 公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する ……P21-24
 C 公園の維持・管理に多くの区民が関わる仕掛けをつくる ……P25

▲取り組むべき課題

- ◇公園管理・活用に区民が参加しやすくなる仕掛けの不足
- ◇新たに公園管理団体を発足してもらう難しさ
- ◇既存の公園管理団体の負担感や後継者問題
- ◇公園の持つコミュニティ機能のさらなる活性化
- ◇公園をコミュニティの核とする上での管理団体や利用団体間のネットワーク不足
- ◇公園管理・活用に関して役だつノウハウを共有していく

★目標

- 公園を活用して・・・
- ◎地域で活躍する「人」を育てよう
- ◎地域住民のコミュニティを活性化しよう
- ◎緑化を推進しよう

【具体的な取組】

提案	#	内容	詳細・備考等
環境整備	①	宮前区マイパーク・ネット（仮）の設置	様々な公園関係団体のネットワークを構築。公園に関する意識統一の場として位置づける。
	②	公園に関する情報の発信・共有	広報紙やホームページなどを通じた情報発信・共有により、公園利用者の拡大、コミュニティ活性化、既存取組の拡充などを狙う。
	③	公園のコミュニケーション機能強化支援	テント等活動用品の貸出、公園活用人材育成講座の開催、世代間交流促進など。
活用	④	樹木・草花名プレートの設置・活用	宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進していく中で、実現に向けて取り組む。
	⑤	冒険遊び場の推進	④⇒モデル公園で実施し、経験を積んだ人が他の公園へ広げる。
	⑥	公園体操の拡大開催 区内42箇所(把握分のみ)	⑤⇒冒険遊び場キャラバン部隊を組織し、モデル公園で実施する ⑥⇒「公園体操オリンピック」を開催する中で、各開催場所での開催回数を増やし、長期的に開催場所を増やしていく。
	⑦	ネイチャーゲームの普及	⑦⇒ネイチャーゲームにより身近な公園を活用し、自然体験機会を通して世代間交流をはかる。
維持・管理	⑧	地域が主体となった公園管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会の協力を得て、花壇を通じた公園管理を促進 ・管理組織未設置の公園について、参加者・協力者募集の案内掲示や、市政だより等を活用した周知・広報。 ・公園愛護会を公園管理運営協議会に移行促進 ・草刈機など貸出可能な用具について周知

提案A：公園の管理・活用活性化に向けた環境整備をする

■取組①：宮前区マイパーク・ネット（仮）の設置

■目的：公園関係団体間の交流を促進することで、公園に関する意識統一、活用のノウハウの共有、公園活用の活性化等を促進する。

■提案内容

1. 宮前区マイパーク・ネット（仮）の構築（組織イメージ図次ページ掲載）

- 公園を管理・活用する団体や、それらのグループを所管する行政等からなる、宮前区マイパーク・ネット（仮）を構築する。
- 各種情報の共有の他、公園に関する情報の発信・共有（後述、取組②）、公園のコミュニケーション機能強化支援（後述、取組③）の具体的な内容について検討する。
- 交流を通して、団体間の連携による地域間交流、世代間交流を推進する。



2. 宮前区マイパーク・ネット推進会議（仮）の開催

- 宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進するため、推進会議を定期的で開催する。
- まちづくり協議会、（公財）川崎市公園緑地協会、グリーンフォーラム 21 みやまえなど、他の中間支援組織等と連携・協力することで、視野を広げた宮前区のまちづくりへとつなげる。

■提案に係る現状・検討経過等

1) 第9回部会 H25.9.3 宮前区役所

- 公園は活用されているが、公園管理団体や活用主体がバラバラに動いており、横のネットワークが無いことがコミュニティ拠点として不十分である、との議論がなされた。

2) 第10回部会 H25.10.1 宮前区役所

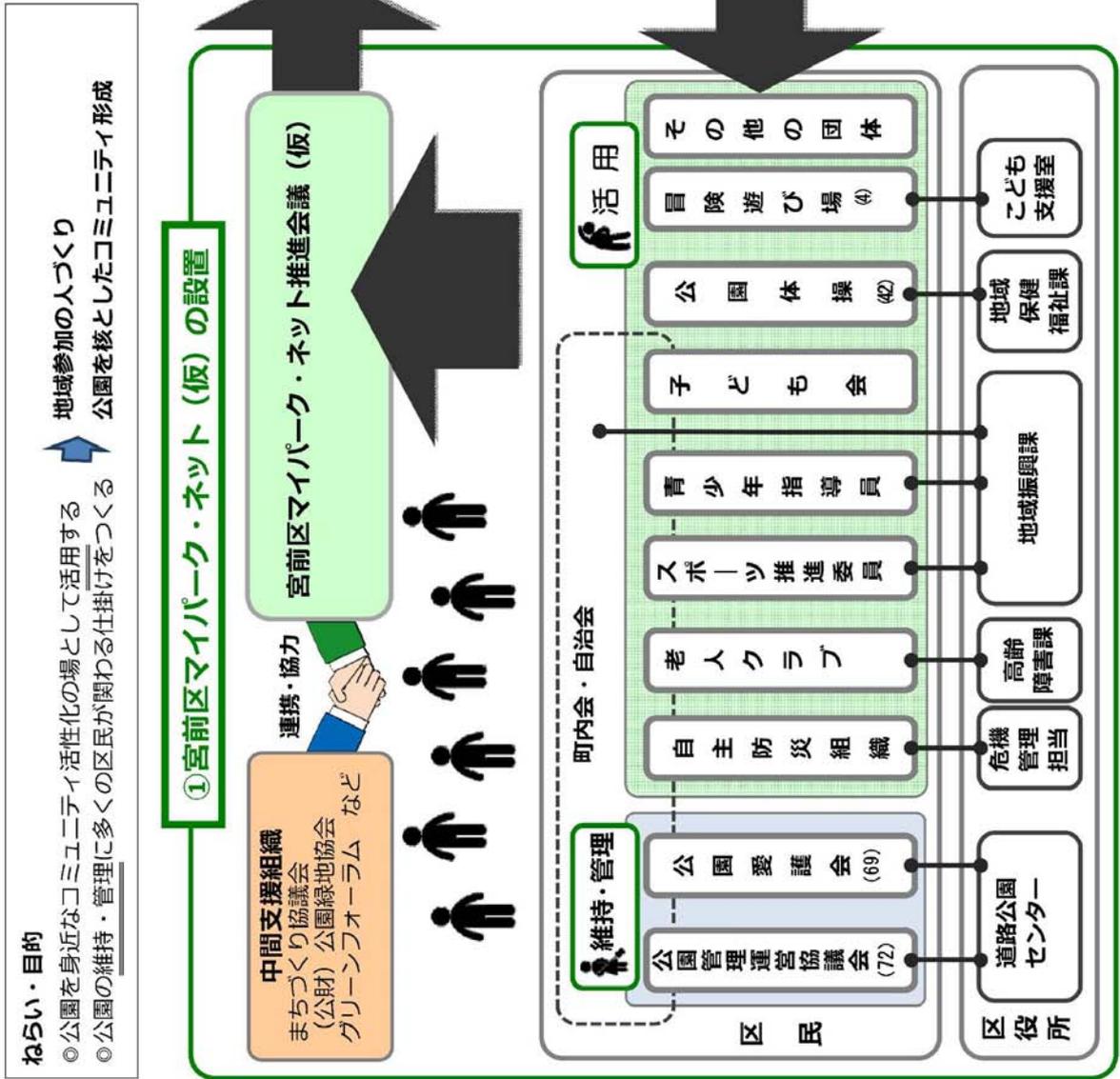
- 道路公園センター協働推進担当課長に関係者として出席を依頼し、公園を取り巻く現場レベルでの課題認識について伺い、部会内で共有した。
- ネットワークの必要性については部会内で合意を得た。
- 設置に当たっての留意点として、「効果的に機能するためには運用面での工夫が必要」「ネットワーク構築と併せて、既存の公園管理運営協議会の機能強化も必要」といった意見が出た。

■今後の課題

1) 宮前区マイパーク・ネット（仮）のあり方について検討を深める。

- 公園関係団体の現状の把握
- 推進会議の開催にあたってのメンバーの人選や事務局の体制等
- 公園管理運営協議会事務連絡会が平成24年3月と平成25年11月に開催されているが連合体を形成しているわけではない。
- 各利用団体のネットワーク化も含めた動きも検討する必要がある。

宮前区マイパーク・ネット（仮）イメージ



② 公園に関する情報の発信・共有

- 広報紙の発行
- OHPの開設

- 発信する情報の案
- 公園に関する団体情報
 - ・公園管理運営協議会・愛護会
 - ・公園体操
 - ・冒険遊び場
 - ・自主防災組織 等
 - 公園で開催されるイベント情報（イベントカレンダー）
 - ・冒険遊び場・公園体操
 - ・防災訓練・盆踊り等地域の行事
 - ・花壇の草刈り、花苗の植え替え 等
 - 「宮前区マイパーク・ネット推進会議」（仮）の情報
 - ・役割、会議開催予定、議事録 等
 - 公園の使い方Q&A
 - ・ルール、公園マナーの共有

③ 公園活用（コミュニケーション）の強化支援

- コミュニケーション・ツールの貸し出し
 - 例：発電機、テント
 - 冒険遊び用機材
 - （ロープ、滑車、段ボール、かまど用ブロック、スコップ 等）
 - 餅つき用臼・杵、餅つき機
 - 紙芝居 等
- コミュニケーション技術の養成
 - 例：養成講座の開催
 - 指導員の派遣
 - イベント相談員の配置 等
- 団体の連携による世代間交流の促進

提案A：公園の管理・活用活性化に向けた環境整備をする

■取組②：公園に関する情報の発信・共有

■目的：情報発信・共有を通して、公園利用者の利便性に供し、公園利用者の拡大、コミュニティの活性化、既存取組の拡充を図る。

■提案内容

公園の維持・管理に関する既存の制度や支援メニューの周知、公園利用に関するマナー啓発、管理ボランティアの参加者募集など、各種情報の発信・共有を行う。

情報の発信に当たっては、広報紙、ホームページ、インターネット上のコミュニケーションツール（ツイッターやフェイスブック 他）等を活用することで、公園管理者・公園利用者・あまり地域の活動に参加していない市民等対象に応じて、効果的な手法を取り入れる。

●実施案

- 1) 広報紙の発行
- 2) ホームページの開設等インターネット上の情報発信

●掲載情報のイメージ

- 1) 公園に関する各種団体の活動の紹介・参加の呼びかけ等
- 2) 公園で開催される各種イベントや活動の情報（イベントカレンダー）
- 3) 公園の使い方やルール
- 4) 公園管理のノウハウ提供・助言等
- 5) 宮前区マイパーク・ネット（仮）の設置目的・活動紹介等

■提案に係る現状・検討経過等

取組①と併せて議論を行ってきた。

- ・ 区のポータルサイト「みやまえぼ一たろう」内に宮前区の公園情報を発信するコーナーがある。
- ・ 公園体操の情報が、宮前区運動普及推進員連絡協議会「ヘルスパートナー宮前」のホームページに掲載されている等、個々の活動レベルではホームページでの情報発信がなされている。
- ・ 行政が情報発信をするよりも、市民側の目線で広報した方が効果的な場合がある。
- ・ 取組①の宮前区マイパーク・ネット（仮）との連動により効果を高めることが期待できる。

■今後の課題

- ・ 広報紙の発行、ホームページの作成・運営等に市民の視点を盛り込むには、担い手の確保が必要である。

提案A：公園の管理・活用活性化に向けた環境整備をする

■取組③：公園のコミュニケーション機能強化支援

■目的：公園のコミュニケーション機能を活性化することにより、より多くの人に公園を利用してもらう。

■提案内容

公園でコミュニケーション活動を行う際の資機材の貸し出し、人材の育成・支援を行う。人材を育成することにより、公園の維持・管理組織の立ち上げへと結びつける。また、団体間の連携を図ることで、多様な世代、多様な地域の人たちが公園に集い、コミュニティの核としての公園へと繋げる。

●具体的な実施案

1) コミュニケーションツールの貸し出し

公園を使ってイベント等を開催する際に必要となる資機材を貸し出す。

- 例
- ①防災用品：発電機、テント 等
 - ②冒険遊び場用品：ロープ、滑車、段ボール、スコップ 等
 - ③祭り用品：餅つき用杵・臼 等
 - ④その他：紙芝居 等

2) 公園活用ノウハウの周知による人材育成

- ・公園を使って各種催しを開催する際に必要となる技術等を習得するための、養成講座を開催する。
- ・また、担い手となる人材が地域にいない公園には、指導員を派遣する。
- ・各種催しを企画する際に相談に乗る相談員を配置する。

3) 団体間連携による世代間・地域間交流の促進

宮前区マイパーク・ネット（仮）での交流や、広報紙、ホームページでの情報交換を通して、公園を利用する団体同士が連携し横につながることにより、世代や地域を超えた催しを開催する。

■提案に係る現状・検討経過等

取組①と併せて議論を行ってきた。

- ・既存の公園管理運営協議会等管理組織に対しては、申請に応じて道路公園センターが一時的に草刈機等資機材の貸し出しを行っている。
- ・冒険遊び場が区内4箇所、公園体操が区内42箇所以上で実施されている。
- ・取組①の宮前区マイパーク・ネット（仮）との連動により効果を高めることが期待できる。

■今後の課題

- ・公園のコミュニケーション機能強化支援の取組と、宮前区マイパーク・ネット（仮）との連携方法
- ・支援メニューの内容・効果を評価し、検証しながら進めていく方法の確保

提案B：公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する

■取組④：樹木・草花名プレートの設置・活用

■目的：樹木や草花への愛着から公園への愛着へと結びつけることにより、区民に公園をより大切に、有効に活用する。

■提案内容

地域の手で公園内の樹木や草花に手作りの名前プレートを設置することにより、樹木や草花に愛着を持ってもらう。

●進め方の案

①モデル公園の選定

- ・宮前区内の7中学校区ごとにモデルとなる公園を選定し、先行して取り組む。

②プレートの作成・設置

- ・公園管理運営協議会が中心となり、プレートを作成する。
- ・作成に当たっては、道路公園センターの職員等を招き、樹木・草花名の講習、作り方の講習等を開催する。
- ・設置に当たっては、子ども会等を通して、近隣の子どもの参加を図る。
- ・設置の際には、公園管理運営協議会のメンバーが中心となり、事前に草刈、枝おろし等をして、子どもたちでも設置しやすいように周辺を整理する。

③設置後の維持・管理

- ・プレート設置後は、公園管理運営協議会のメンバーが日常的な公園管理をする際に、破損や落下に目を配り、適宜補修・再設置をする。

④設置後の活用

- ・プレート設置後に、公園内の樹木一覧表や樹木マップを作成する。
- ・取組⑦と連携し、樹木・草花名プレートを使用したネイチャーゲームの開催など、設置後の活用を図る。

■提案に係る現状・検討経過等

1) 第6回部会 H25.4.8 宮前区役所

- ・公園は地域住民のためのものであり、同時に財産であることを肌で感じていただき、コミュニティの場として有効活用するためには地域ぐるみの維持・管理が必要である。そのための手法の一つとして、樹木・草花名プレートの設置が委員から提案された。

2) 第9回部会 H25.9.3 宮前区役所 ～第11回部会 H25.10.21 宮前区役所

- ・プレート設置に関する具体的な手法等について検討し、「設置に当たっては小学校等に協力を求めることで、子どもたちが公園に愛着を持つ」等の意見が出された。

■今後の課題

- ・宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進する中で実現に向けて取り組む。
- ・モデル公園の選定とプレート作成費用の確保が課題である。

提案B：公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する

■取組⑤：冒険遊び場の推進

- 目的：冒険遊び場を通して子育て世代や子ども達が公園に対して愛着を持ち、地域参加機会の創出や持続可能な公園の活用へとつなげる。

■提案内容

子どもたちが冒険遊び場に参加することで、親同士の連携を深める。

宮前区内にモデル公園を選定し、定期的にキャラバン部隊が冒険遊び場を開催することにより、最終的には、モデル公園に冒険遊び場を定着し、キャラバン部隊の支援が無くても開催できるよう人材を育成する。

●進め方の案

①キャラバン部隊の結成

- ・各地域で担い手として活動したいが、単独で運営するには人数が少ないといった方たちも集めて育成する。
- ・4つの公園の有志によりキャラバン部隊を組織し、宮前区内のモデル公園で冒険遊び場の開催を指導・支援する。
- ・キャラバン部隊による冒険遊び場は、あらかじめスケジュール化し、事前に広報することで、より多くの参加者を募る。

②モデル公園での人材育成

- ・キャラバン部隊による冒険遊び場を試行する中で、各モデル公園が担い手を育成し、最終的にはキャラバン部隊の支援が無くても独自開催ができるようにする。



■提案に係る現状・検討経過等

1) 第2期区民会議での提案とその進捗状況

- ・「公園を活用した次世代育成」「コミュニティの活性化」の2つの目的のもと、「冒険遊び場」が提案された。
- ・平成22年冒険遊び場検討委員会が設立。平成23年4月に「冒険遊び場活動支援要綱」を策定、同年9月に「冒険遊び場支援委員会」設立。
- ・現在、要綱に沿って3団体が組織され、4か所で冒険遊び場を開催している。また、シンポジウムや区民祭での出張冒険遊び場も開催されている。

2) 第9回部会 H25.9.3 宮前区役所 ～ 第11回部会 H25.10.21 宮前区役所

- ・冒険遊び場の推進方法について意見交換。

■今後の課題

- ・宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進する中で実現に向けて取り組む。
- ・ロープ、ハンモック等固定的に使用する用具の購入費用の資金援助など。
- ・その他用具の貸し出し等については、宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進する中で対応する。

提案B：公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する

■取組⑥：公園体操の拡大開催

■目的：公園体操の開催回数を増やすことにより、より多くの区民が公園を利用し、公園を地域のコミュニティの場として機能させる。

■提案内容

「公園体操オリンピック」等のイベントを通して、公園体操の開催回数、参加人数の拡大を図る。

●進め方の案

①「公園体操オリンピック」の開催

- ・ 公園体操の推進期間を指定し、期間内の公園体操の開催回数、参加人数等を競う、「公園体操オリンピック」を開催する。
- ・ 宮前区内の公園が競い合うことで、開催回数の拡大、参加人数の増大を推進する。
- ・ 優秀な成績をおさめた公園に対しては、「最年長参加者」「開催回数」「参加人数」などの表彰を行うことにより、イベント参加への動機づけを図る。



②横の連携による世話役の確保

- ・ イベントを開催することで、公園体操を実施している公園が身近にない人たちが遠方から参加し、自分たちの近くの公園で公園体操を実施する契機となる。
- ・ 新たに公園体操を実施する公園が、既に公園体操を実施している公園と連携することで、世話役の交流が生まれ、互いに補てんし合う関係が生まれる。

■提案に係る現状・検討経過等

1) 公園体操の実施状況

- ・ 現在、区で把握しているだけでも、区内 42 箇所の公園で開催されている。
- ・ 公園によって、月 1 回しか開催していない公園から、ほぼ毎日開催している公園まで、開催頻度が異なる。
- ・ 実施内容も、ストレッチ、ラジオ体操、太極拳など様々である。
- ・ ホームページ「ヘルスパートナーみやまえ」で、公園体操の開催場所、開催日時、開催内容等の情報が掲載されている。

2) 第 6 回部会 H25.4.8 宮前区役所

- ・ 「介護の必要のない社会を目指して、健康な身体づくり・体力づくりが要求される」という課題解決の方策として、委員から公園体操の拡大開催が提案された。

3) 第 9 回部会 H25.9.3 ～第 11 回部会 H25.10.21 宮前区役所

- ・ 公園体操の拡大開催の進め方について意見交換。

■今後の課題

- ・ 宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進する中で実現に向けて取り組む。
- ・ イベント開催に当たっては、公園体操を実施している各団体・グループ間の横の連携が取れる仕組みを作る必要がある。

提案B：公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する

■取組⑦：ネイチャーゲーム※の普及

■目的：ネイチャーゲームを開催することで、自然と触れ合う機会を創出するとともに、多様な世代が交流する機会を提供する。

■提案内容

子どもから高齢者まで、誰でも参加可能なネイチャーゲームを開催する。
五感を使って自然と触れ合うことで、自然を大切にする心を育む。

●進め方の案

①ネイチャーゲームの開催

- ・他の団体が主催するイベントプログラムの一つとして開催する。
- ・ネイチャーゲームの会が中心となり企画し、地域の協力を得て参加者を募るなど、地域の特性に合わせてさまざまな手法が考えられる。

②担い手

- ・かわさきネイチャーゲームの会メンバーに企画・指導を受ける。
- ・宮前区内に、かわさきネイチャーゲームの会には所属していないが個人でネイチャーゲーム指導員として活動している人もいるので、将来的にはその人たちを地域に引っ張り込んでいきたい。
- ・町内会・子ども会・青少年指導員・こども文化センター運営協議会などの協力を得る。また、公園管理運営協議会のメンバーとともに、企画・運営に当たる。

③開催場所

- ・宮前区内の各地の公園で開催する。特に公園管理運営協議会が設置されている公園で先行的に実施する。
- ・開催候補：菅生緑地、鷺沼公園、宮崎第4公園、東高根森林公園、野川ふれあいの森 等

■提案に係る現状・検討経過等

1) 検討の経緯・現状等

- ・心を育てる地域と世代部会で「世代間交流に資する取組」として検討が進められていたが、公園や緑地が場となること、人づくりにも資することから、議論を引き継ぎ、検討を進めた。
- ・かわさきネイチャーゲームの会は川崎市市民・こども局市民スポーツ室所管の「川崎市レクリエーション連盟」に加入している。

■今後の課題

- ・宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進する中で実現に向けて取り組む。
- ・参加者の怪我への対応として、保険料を徴収し開催する場合がある。
- ・ネイチャーゲームの講師に、講師料として交通費程度を支払う場合もある。

※ネイチャーゲーム

見る・聴く・触るなどの感覚を使い、自然に関する色々なゲームを通して、楽しみながら自然の不思議や仕組みを体験する活動。

提案C：公園の維持・管理に多くの区民が関わる仕掛けをつくる

■取組⑧：地域が主体となった公園管理の促進

- 目的：区民主体の公園維持管理を推進し、区民の地域参加の機会を増やす。活用されていない公園の活性化へつなげる。

■提案内容

公有地の植栽活動に花苗の支援をしている区まちづくり協議会の「花と緑のまちづくり事業」と連携する。新たに発足した団体に特化した花苗支援を行うことで、管理組織未設置公園に対して花壇づくりをきっかけとした公園参加を促す取組を行い、それを契機として市民による公園管理の促進へとつなげていく。



●具体的な取組

- 1) まちづくり協議会との連携による花壇活動を通じた公園管理の促進
- 2) 市政日より、回覧等を活用して公園管理の参加者・協力者の募集
- 3) 花壇設置や花苗支援、報奨金等、既存支援メニューの周知広報

■提案に係る現状・検討経過等

1) 公園管理運営協議会・愛護会の設置・活動状況

- ・ 区内全 205 公園のうち、公園管理運営協議会が設置されている公園は 72 箇所、公園愛護会が設置されている公園は 69 箇所となっており、管理組織が未設置の公園は 64 箇所、約 3 割である。

2) これまでの取組

- ・ 第 2 期宮前区区民会議で「公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援」として提案がなされていた。
- ・ 第 2 期提案と連動はしていないが、平成 24 年 3 月と平成 25 年 11 月に区道路公園センターが公園管理運営協議会事務連絡会を開催した。

3) 宮前区まちづくり協議会「花とみどりのまちづくり事業」の概要（平成 23 年度～）

- ・ 対象：区内の公有地にある花壇を管理している緑化活動団体
- ・ 支援内容：花苗の提供（公募制）
- ・ 応募条件：「花とみどりの支援説明会」への参加
提供された花苗を植えた花壇写真を添付した報告書の提出など
- ・ 実績：29 団体に計約 7,000 株の花苗を提供（平成 25 年度）

■今後の課題

- ・ 市民による公園管理へ結びつける花苗支援の具体的な手法については、まちづくり協議会花とみどりの委員会の協力を得る。
- ・ まちづくり協議会・行政内関係部署の取組強化がきっかけとなり、地域による公園管理が活性化していくことが望ましい。



第3章 心を育てる地域と世代部会からの提案

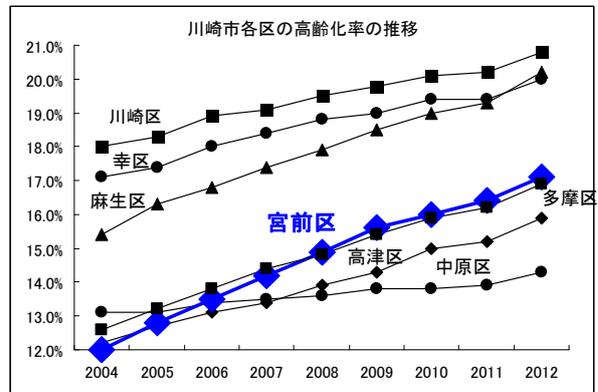
1. 審議テーマ：地域間・世代間の交流を深める

- (1) 町内会・自治会・子ども会の活性化
- (2) 子育て親の地域意識醸成
- (3) 子どもの教育の支援
- (4) 定年後の生きがい探し
- (5) 孤独死・孤立死問題

2. 背景（審議テーマに関わる「宮前区の今」）

■地域とつながりの薄い区民の増加

- ・ 人口の推移から見る宮前区は、18歳未満の子どもの数が川崎市7区のうち最も多く、人口比率も高くなっています（平成25年10月1日現在川崎市年齢別人口）。一方で、居住期間が短い世帯や単身世帯の増加も見られます。
- ・ 子どもの置かれている状況として、核家族化や共働き世帯の増加といった家庭環境の変化や、不審者対策といった社会環境の変化により地域の大人との交流機会の減少が見られます。
- ・ 都心へのアクセスが優れた住宅地として戦後に開発されてきた地域も多いことから、東京都や横浜市などを通勤・通学先や日常生活圏とする区民も多く、ご近所づきあいや地域参加、他の世代との交流機会等の少ない区民が増えてきています。
- ・ 2004年までは川崎市7区中最も高齢化率が低い区（12%以下）でしたが、近年高齢化が急速に進行。2012年には高齢化率17%を超えています。
- ・ これらのことから地域と関わりの薄い子どもや、子育てに不安を抱え孤立しがちな親世代、ひきこもりがちな高齢者（孤独死・孤立死等の問題にもつながる）などを地域で支えていく必要があります。



■活発で多様な市民活動

- ・ 宮前区内では様々な分野での市民活動が活発に行われており、地域が主体となった高齢者の見守り活動や、多数の子育てサークルの活動などが展開されています。
- ・ 区役所、向丘出張所、有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）、カッパーク鷺沼内（フォンテーヌさぎぬま1階）の4箇所に設置された市民活動支援コーナーへの登録団体は約270団体（平成25年10月時点）となっており、数多くの地域活動がなされていることがわかります。
- ・ 一方で、団体によっては高齢化や後継者不足による活動の停滞・低迷、認知度が低いことによる参加者拡大機会の損失などもあり、それらに対しては区まちづくり協議会など既存の中間支援団体による支援に加え、必要に応じた活動のサポートが求められています。

3. 宮前区の課題

背景を踏まえ、部会で共有された地域課題に関する主な意見は以下のとおりです。

課題：人とのつながりや地域への帰属意識の希薄化

- ・ 現役世代は仕事、子どもは学校や習い事で忙しく、宮前区の豊かな自然を体験したり、地域活動に参加したりする時間や機会に乏しい区民が多い。
- ・ 親子で体験や感動を共有する機会も少なくなっている。
- ・ 世代間交流により、多様な価値観や体験に触れる機会が少なくなっていることが、子どもの豊かな成長の妨げや自己本位な大人の増加につながっているのではないか。
- ・ 郷土史などが世代間で継承されておらず、散逸のおそれがあるとともに、地域への帰属意識や愛着の希薄化につながっているのではないか。

課題：市民活動の認知度向上や地域の潜在的人材の参加促進

- ・ 区内には素晴らしい市民活動がたくさんあり、広報等も尽力されているが、それでもなかなか知られていないケースがある。
- ・ 担い手が高齢化・固定化等している傾向が様々な活動に見られる。
- ・ 地域に興味があっても参加のきっかけがない区民が多いのではないか。
- ・ 「潜在的な地域人材」は区内にまだ多く眠っている。
- ・ 様々な分野で実績や経験、知識・技術を持つ区民が区内にはたくさんいる。そうした人材を活かし、協力をあおぎながら、地域の子どもの継承していきたい。

課題：ボランティアのコーディネートやネットワークの不足

(1) 市民活動団体同士の連携に関する課題

- ・ 社会福祉協議会、市民館、こども文化センターなどでは、それぞれ人材や活動団体の登録・連絡体系などがあるが、個人情報に関連もあり、整理や共有化・発信が困難であり、横断的な活用はできていない。
- ・ 各取組がバラバラの印象がある。全体を俯瞰して連携や人材のコーディネートを進める視点・機能が求められる。
- ・ 既存の市民活動団体に関わる人たちが、他のテーマや活動についてはほとんど知らなかったり、関心が低かったりすることもある。
- ・ 既存の市民活動者が他のテーマや活動に関心、無知なことがある。

(2) 学校と地域の連携に関する課題

- ・ 学校が地域に開かれた場となり、地域の様々な世代や人材が活躍、活動することで、学校が地域の拠点となることが理想である。また、学校側も地域に参加し、相互の交流関係を築いていけるとよい。
- ・ 教員の負担・経費・管理安全責任などの問題が、学校と地域の連携の壁になっていることがある。

- ・ 学校と地域の連携事例が個人的・限定的なつながりによっていることが多く、担任の交代や地域側の世代交代などに対応できないことがある。
- ・ 区学校支援センターの、登録ボランティアの少なさ、ボランティアニーズと登録者が希望する活動内容とのミスマッチ、広報不足など。

4. 目指す方向性と目標

①子ども達の健全育成、区民の郷土愛の醸成のために、区民の世代間交流や地域参加の機会を増やす取組

②地域での支えあい、コミュニティの充実のために、既存の区内の地域活動・市民活動の充実と連携、次世代の担い手の発掘や育成に資する取組

上記の2点が、課題を解決するために必要です。

それらを具体化するために取組を検討する上で、「目指す方向性」と「目標」を以下のように決めました。

■ 目指す方向性

多様な人材・世代が地域（小学校区程度の徒歩圏内）で、

交流し、連携する場を創出することで、

健全育成や文化・体験の共有と伝承につなげ、区民の心を育む

※心を育む＝地域の伝統文化や多様な価値観に触れることで、他人を思いやる心や礼儀、自立心、郷土愛などを育む

■ 目標

- ・ 多世代が対話できる場を地域で展開する。
- ・ 各世代の文化や体験、記録を世代間で共有する。
- ・ 世代間交流に資する市民活動を支援する。

5. 提案

多様な人材・世代が、地域で交流し、連携する場を創出することで、健全育成や文化・体験の共有と伝承につなげ、区民の心を育む。

提案

- A：世代間交流に取り組む諸団体へのサポートの実施 ……P30-33,37
 B：既存のイベントでの世代間交流のしかけの企画と実践 ……P38
 C：世代間の対話につながる新たなプログラムの企画と実践 ……P34-35,39
 D：活動の記録、区誕生 40 周年・市制 100 周年に向けたアーカイブ P36

▲取り組むべき課題

- ◇人とのつながりや地域への帰属意識の希薄化
- ◇市民活動の認知度向上や地域の潜在的人材の参加促進
- ◇地域での人材とニーズのコーディネート機能や連携ネットワークの不在

★目標

- ◎多世代が対話できる場を地域で展開する
- ◎各世代の文化や体験、記録を世代間で共有する
- ◎世代間交流に資する市民活動を支援する。

【具体的な取組】

提案	#	内容	詳細・備考等
A	①	世代間交流に資する市民活動へのサポート	●広報支援、地域ボランティア募集の支援など、区や団体との調整結果を踏まえてサポートする。第 1 弾として「風の泉」への支援を行う。
	②	世代間交流のキャンペーン展開	●既存の世代間交流に資する活動をまとめ、キャンペーンとして展開し、周知・広報・ネットワーク化の一助とする。
C	③	世代間で交流する対話の場を企画	●特定分野に知識・見識や技術・経験を持つ成人を核として、子ども達や親子が、体験・対話を共有する場を企画・実施する。
D	④	アーカイブ事業の実施	●取組③の企画を実施し、記録を作成。区民が閲覧できる形で提供する。 ●区の情報をまとめるアーカイブ事業を実施し、手法として世代間交流の内容を盛り込んでいく。

【申し送り・経過観察事項】 ※部会で検討したが、任期内の提案に至らなかった取組

提案	#	内容	詳細・備考等
A	①	学校支援センターの機能強化	●人材拡充・活用促進の課題はあるが、当面は行政側の取組を見守る。
B	②	「チャレボラ」交流会の開催等	●チャレボラの現場を見学。主催である市社会福祉協議会に区民会議での検討経過を伝えるに留める。
C	③	ボランティアコーディネーターの育成	●必要性は議論されたが、市民館等で開催している既存の人材育成関連の講座の開催経過を見守るに留める。

提案A：世代間交流に取り組む諸団体へのサポートの実施

■取組①：世代間交流に資する市民活動へのサポート

■目的：世代間交流に資する区内の市民活動の推進・普及の強化、継続性に対して支援する

■提案内容

世代間交流に資する市民活動団体へのサポートを、区や区民会議関係団体により実施する。対象となる団体と支援の内容や理念、期間等、確認・調整しながら、必要に応じて協働の協定を締結するなど対応を検討する。

第1弾として、「風の泉」※に対して区と協働し、以下に取り組む。

1. 広報支援

市政だより・回覧等各種広報媒体で取組の理念や内容の周知を推進する。

2. ボランティア募集支援

ボランティア募集・地域内の他団体との連携（例：地域教育会議、高齢者施設、福祉施設等）への橋渡しや広報など、働きかけの支援を行う。

3. その他の支援

「風の泉」をきっかけとして地域での九九暗唱サポート体制の自立や立ち上げにつながる支援等を必要に応じて実施する。

■提案に係る現状・検討経過等

1) 第5回部会での議論 H25.3.8 宮前区役所

- ・ 「風の泉」が開催したシンポジウムへ参加した区民会議委員から世代間交流の事例として紹介があった。
- ・ 「風の泉」は開発したプログラムやノウハウを普及していく点が他の団体と異なる。活動が継続すれば区全体で持続的に世代間交流が活発となり、地域コミュニティの活性とともに学校・地域連携の促進や子どもの学力アップまでが見込まれる。

2) 関係者ヒアリング1 H25.7.17 宮前市民館

活動状況や理念、経緯等を関係者に伺い、サポート対象として相応しいことを確認。

- ・ 学校と地域の連携推進を理念とした活動で、現在区内4小学校で展開
- ・ 児童の九九暗唱を聞く、簡単で、地域の誰もが参加しやすいボランティア活動
- ・ 参加ボランティアと子ども達の心の交流や、成長を見守る場となっている

3) 活動現場見学・体験 H25.7.23 有馬小学校

有馬小学校2・3年生児童を対象とした夏休み期間中の活動現場を訪問、見学・体験。

- ・ 参加のしやすさや、子どもたちとの交流、効果等を実感。
- ・ 先輩中学生のボランティア参加、ふりかえり活動による多世代の交流を確認。



4) 関係者ヒアリング2 H25.9.26 宮前区役所

団体関係者を部会に招き、活動の状況や支援ニーズを改めて伺った。

- ・ 過去に「風の泉」が入った学校で、保護者らによる自主運営などの事例が見られ始めた。
- ・ 地域拠点（アリーノ）で実施した例もあり、学校以外でも活動の基盤をつくる展開が考えられる。
- ・ 学校と地域拠点での展開で、より多様な参加児童や運営ボランティアの確保、他団体との連携、地域に根ざした運営基盤等の確保などを目指している。
- ・ 保護者以外の地域ボランティアの募集、声かけに苦労している。
- ・ 地域の高齢者福祉施設等との連携により、子どもと高齢者がともに、支え合い生きる力を獲得する可能性がある。
- ・ 中学校区ごとに存在する地域教育会議との連携もはかりたいが課題も多い。



■今後の課題

1) 他の活動支援対象の検討・実施

- ・ 「風の泉」以外の世代間交流に資する市民活動の発掘
- ・ 支援ニーズの掘り起こしとそれに則した支援の実施

2) 進行管理・評価の方法

主旨目的の遂行と継続、チェック機能（実施効果の確認・評価等）の確保

「区民会議の目的＝参加と協働による地域社会の課題の解決」に沿っているか

地域の世代間交流に資する内容となっているか

活動団体のニーズに答え、且つその主体性を損なわない内容となっているか など

※ 風の泉

市民館自主企画学級が発端となって組織された市民活動団体。小学校低学年で学ぶ九九暗唱は四則計算の基礎であり、そこでのツマヅキが学力的にも精神的にも将来に与える悪影響が大きいことが予想されることから、小学生の九九暗唱定着の支援活動プログラムを作成し、区内各地で実施しながら普及活動を行っている。

小学生が九九を覚えられているかを聴くだけなので、特別な知識や技能が無くても地域の大人や中学生でもボランティアとして参加できる。この学習支援活動を通し、子どもだけでなく、教師や保護者・ボランティアみんなにとって得るものが大きく、単なる学習支援に留まらない学校と地域の連携や世代間交流を目的としている。自分たちが活動するだけでなく、九九暗唱支援のプログラムを普及し、ノウハウを地域に定着させ、地域主体で担えるサイクルづくりを目標としている。

提案A：世代間交流に取り組む諸団体へのサポートの実施

■取組②：世代間交流を推進するキャンペーンの展開

■目的：区民の世代間交流を通じて「心を育む」意識の醸成、認知・参加意識を高める。
区内の世代間交流に資する活動を盛りたて、活動の活性化へつなげる

■提案内容

「世代間交流で心を育てる」理念を区内で普及・推進し、区民の意識を高めるためのキャンペーン活動を展開する。

●進め方の案

①主旨

- ・地域の様々な人と出会うことで心やコミュニティが豊かになることを伝える。
- ・地域の世代間交流に貢献している既存の活動にスポットを当て、勇気づける。
- ・世代間交流を通じた新たな体験・出会い・活動連携のきっかけづくりを行う。

②キャンペーン内容の例

- ・キャッチフレーズの作成

案：つながろう 知ろう・語ろう みやまえ区

案：輪になって 知ろう・語ろう みやまえ区

案：話（わ）と輪（わ）で和（わ）になるみやまえ区

※主旨がわかりやすいもの、5・7・5形式などリズムが良いものが良い。

- ・ロゴマークやキャラクターの作成

案：区誕生30周年キャラクターである「宮前
兄妹」に家族を加えて、世代間交流の演出
を行うと共に、活用の機会を増やす。



案：多世代が手を結ぶイメージのロゴマークを作成する。

※ストーリー性などを持たせ、多世代が楽しめるように演出したい。

- ・展開方法

案：キャッチフレーズ・ロゴ・キャラクター等の掲出、既存活動への付加

⇒バッジ等のグッズを作成し、配布、活用することで普及・啓発を図る

案：冠事業としての広報展開などを行う

⇒市政日より区版で特集記事を組むなどして紹介する

⇒区のホームページ、その他各メディアを通じて広報する。

案：既存のイベントや活動団体の中から「世代間交流活動」の認定・登録を行
い、紹介するとともに、団体間の交流や体験を推進する。

⇒スタンプカードなどを作成し、イベント参加ごとにスタンプを収集。達成
度に応じてインセンティブを与える。

⇒活動を互いに見学・体験するイベントなどを企画する

⇒区民祭など多くの区民が集まり、毎年開催されているイベントを核にする。

■提案に係る現状・検討経過等

1) 第9回部会 キャンペーン提案 H25.8.20 宮前区役所

- ・ 新たな担い手の確保の難しさとともに、既存の活動にも地域の世代間交流に貢献しているものが相当数あることが指摘された。
- ・ これらにスポットを当てるとともに、区全体で世代間交流の価値を再認識し、機運を盛り上げていくためのキャンペーン実施案が出された。

2) 第10回部会での議論 キャンペーン手法の検討 H25.9.26 宮前区役所

- ・ 「区誕生30周年」「音楽のまち・かわさき」などの展開事例を踏まえて、キャッチフレーズ、展開方法などの具体案の検討を進めた。(検討結果は前述のとおり)

区民会議フォーラム参加者から寄せられた、世代間交流キャンペーンのキャッチフレーズ、ロゴ、キャラクターのアイデア



■今後の課題・次期以降の区民会議への申し送り事項

1) キャンペーン内容の具体化

- ・ 部会検討案を基に、キャンペーンの内容・展開方法等の検討
- ・ 個人や活動団体にとってのキャンペーン参加へのインセンティブや、興味をもって参加してもらうきっかけづくり・働きかけの設定が要となる。
- ・ 活動団体が互いの活動を自慢しあうような場・雰囲気を形成したい。

2) キャンペーンの展開

- ・ より多くの区民に知ってもらい、参加してもらえる形で展開する。
- ・ 限定された期間ではなく、ある程度継続性が確保される形が望ましい。

提案C：世代間の対話につながる新たなプログラムの企画と実践

■取組③：世代間で交流する対話の場を企画

- 目的：地域で多世代が共に地域の文化や資源等の体験を共有し、語り合う機会を創出することで、文化の伝承、子どもの健全育成、郷土愛の醸成等につなげる。
区民の世代間交流を通じて「心を育む」意識の醸成、認知・参加意識を高める。

■提案内容

特定分野に知識・見識や技術・経験を持つ成人や、宮前区の資源や魅力の伝承・保全・創出・PR等を主旨として活動している団体や区民を核として、子どもをメインターゲットとした多世代が体験・対話を共有する場を企画・実践する。

●進め方の案

①留意点

- ・人生の先輩から子ども達へ、経験や知識、価値観や宮前区の資源等を伝える。
- ・参加する多世代が、双方向で体験や意見を共有しあうプロセスを重視し、参加・交流型の要素を盛り込む。
- ・参加者に身近に感じてもらえるテーマの取り上げ方、伝え方を演出する。

②対話するテーマ

- ・郷土史…歴史や逸話・伝承等。郷土史を研究したり、サークル活動を行ったりしている区民を核とする。例：まちの歴史、東部62部隊の歴史
- ・役に立つ体験談…昔からの生活の知恵、戦争・事故・事件・自然災害等の体験談を年配者から語った後、教訓や対策を多世代で話し合い、共有する場とする。

③実施方法

- ・「課外授業 ようこそ先輩」宮前区版…NHKの同名番組をヒントに、区出身の著名人が母校を訪ね、特別授業を通じて、自分の経験や知識を伝えるとともに交流活動を行う。
- ・世代間交流コミュニケーションツールの作成…学校や地域等で起こる様々な課題をテーマとしたコミュニケーションツールを作成し、多世代で体験する。

④場

- ・地域内の身近な場所、参加者が歩いて集まれる場所が望ましい。
例：学校…安全面や運営面などいくつかクリアすべき課題があるが、世代間交流の場としてふさわしく、児童の成長を地域で見守る形にもっていける可能性がある。
例：わくわくプラザ…利用者が限定されているが、児童が集まる場として期待される。
例：こども文化センター…運絵協議会へ地域の様々な活動団体が参加し、連携の場となっている。
※その他、企画内容によって身近な施設や公園などの屋外も考えられる。

⑤担い手

- ・区民会議委員が出身団体
- ・テーマやプログラムに関わる市民活動団体

■提案に係る現状・検討経過等

1) 区内の既存の取組について意見交換

部会発足当初から継続的に審議をし、土橋小学校での昔遊び、國學院大學奉仕会、こども文化センターでの各種行事など、既存の世代間交流の現場について意見交換を行った。

- ・ 様々な分野で実績や経験、知識・技術を持つ区民の協力をあおぎながら、地域の子どもに継承していけると良い。
- ・ 一方的に話を聞く講義形式だと、子どもは飽きる。双方向のやり取りが無いと効果は薄い。
- ・ 世代間による対話が重要であり、その手法は様々考えられる。

2) 第10回部会 プログラムの具体案の検討 H25.9.26 宮前区役所

企画例①：みやまえカルタを活用した世代間交流イベント

内容：①カルタの札で取り上げられた地域資源の現場学習・体験

②カルタ大会

③交流企画 話し合いや懇親・懇談の場など

会場：取り上げるカルタで読まれている地域資源の現場、周辺の公共施設など

担い手：取り上げるカルタで読まれている地域資源に関わる活動団体や地元地域団体

※ 多様なカルタの札があるので、地域別やテーマ別でシリーズ化もできそう。

※ 平成24年度の区民会議フォーラムで区内の市民活動拠点や資源をカルタの札を紹介しながらウォークラリー形式で周り、その後多世代でカルタを楽しむ企画を行い、参加者から好評を得た実績がある。



企画例②：ネイチャーゲームを通じて体験・交流

※詳細の企画検討や取り扱いは、公園の活用をテーマとしていた環境を活かした人づくり部会の審議に委ねるものとする。

■今後の課題・次期以降の区民会議への申し送り事項

- ・ 実現に向けて、担い手・場・手法・テーマ例などの検討、確保が必要となる。
- ・ 今後も機会があれば、有志で検討や働きかけを継続したい。また区の事業設計の際にも配慮を願いたい。

提案D：世代間交流の活動の記録、区誕生40周年、市制100周年に向けたアーカイブ

■取組④：アーカイブ事業の実施

- 目的：区内で行われている世代間交流の活動等を記録し、共有することで、世代間交流に対する参加意識の醸成をはかる。
放っておけば散逸・消失等の恐れがある地域資源の記録を世代間で保存・伝承し、多世代で宮前区へのふるさと意識を高めてもらう。
区誕生40周年（2022年）や市制100周年（2024年）に向けての機運を盛り上げる。

■提案内容

各学校、施設、地域で行われている「世代間交流の記録」と、写真や文章資料などを募集し郷土史の話などを整理する「宮前区のあゆみの記録」を行う。

集まった資料をアーカイブとして保存し、区民に閲覧しやすい形で提供するとともに、後世に残し、継承していくしくみをつくる。

世代間交流の企画の一環としての実施も考えられる。

■提案に係る現状・検討経過等

1) 提案の基となった意見

- ・ 「世代間交流企画」の実施記録をきちんと残し、より多くの区民と共有、後世・次世代にも引き継いでいくことが重要である。
- ・ 戦争や開発の記録、昔の宮前区の姿の資料や逸話などは、時代とともに散逸・消失していく。失われてしまう前に記録・保存していく必要がある。
- ・ 区誕生40周年や市制100周年に向けてシリーズ化等を行うことで、全体の機運を盛り上げ、より大きな成果を狙えるのではないか。

2) 記録の対象

- ・ 「世代間交流企画」の実施記録
- ・ 学校と地域の連携事例（小学校アンケートで見出した事例等）
- ・ 地域の古老や住民、郷土史研究者などが所有する昔の宮前区に関する資料や記憶

3) 記録の方法

- ・ 「世代間交流企画」を通じて、資料やお話を共有し、記録する

4) 記録の保存・伝承

- ・ 区内学校に活用してもらえるような副読本や冊子としてまとめる
- ・ Webなどを通じた公開資料として活用

■今後の課題・次期以降の区民会議への申し送り事項

- ・ 2つの周年記念を見据えながら区が主体となった取組を行うことが望ましい。
- ・ 長期的に確実なアーカイブ化が必要であり、市民参加も不可欠なことから、行政が主体となった協働による課題解決へとつなげたい。

(申し送り) 提案A 世代間交流に取り組む諸団体へのサポートを実施

■申し送り・経過観察① 学校支援センターの機能強化

■目的:「学校支援センター」の機能を増強することで、子どもと地域の大人がふれあう機会を創出し、世代間交流へとつなげる。

■検討結果

区子ども支援室内に設置され、地域の方にボランティアをお願いして学校現場でのサポートをしてもらう「学校支援センター」が積極的に活用されることで、学校・地域の連携が強化されるとともに、地域の大人と子どもがふれあう機会を今以上につくることができる。

まずは関係者・担当者の取組、改善活動、その成果等について、見守りたい。

■地域課題の現状調査の結果・検討経過等

1) 区内小学校での地域連携・交流、地域人材活用現況調査(結果)

平成24年度に区内の公立小学校全17校を対象にアンケート調査を実施した。

- ・ **授業内**…半分以上の学校で、伝承遊び・農業・職業・伝統文化等の体験授業、楽器・そろばん・英語・水泳などの専門授業で授業内容に即した知識や技能を持つ地域人材が活用されている。その他福祉教育、郷土史、国際交流など多分野・多岐に渡る活用例が確認された。
- ・ **授業外**…バザーやフェスティバル等のイベント、登下校時のパトロールなどで地域人材が活躍している事例があり、PTAやおやじの会が積極的に活動を展開している事例もあった。その他美化活動、あいさつ運動、学校行事支援などの事例もあった。
- ・ **広報活動**…全小学校において「学校だより」が発行され、保護者配布、町内会回覧等が行われていた。その他学校HPの開設、授業や行事の公開が行われている。
- ・ **連携・交流への障害や課題**…複数選択式で訊ねたところ、「財源の不足」「時間の不足」と回答した学校が10校以上あり、もっとも多かった。「教職員の負担」、その他「手続きの複雑・面倒さ」「情報の不足」と回答した学校もあった。

1) 区内小学校での地域連携・交流、地域人材活用現況調査(結果)

①子ども支援室ヒアリング H24.12.12 第3回部会 宮前区役所

- ・ 社会福祉協議会など他ボランティア関係機関との連携の弱さ、知名度の低さとボランティア登録の少なさ、ボランティアニーズとのミスマッチなどの課題を確認した。

②学校支援センターヒアリング H25.7.30、8.20 宮前区役所

- ・ 現在の登録ボランティアは40人程度で、増強が望まれていることを確認した。
- ・ 現行制度では無償で交通費等も支給できず、定期・長期的な人材の確保が難しい、登録の際の支援可能内容の項目が事前に周知されていない、などの課題を確認した。

■今後の課題・次期以降の区民会議への申し送り事項

1) 改善・課題解決への意見

「特技がないと登録できない」という誤解や遠慮を招いている恐れがあり、募集チラシや登録フォームの改善が必要である。

2) 今後について(留意点や意見)

見守り結果に応じて、必要な働きかけ、取組について検討・提案を行っていく。

(申し送り) 提案B 既存のイベントでの世代間交流のしかけの企画と実践

■申し送り・経過観察② 「チャレボラ※」交流会の開催等

■目的：区民の世代間交流を通じて「区民の心を育てる」意識の醸成、認知・参加意識を高める。

■検討結果

既存の区内の市民活動団体が行うイベントや活動に世代間交流に資する企画やイベントを付加することで、世代間交流の機会を創出し、意識を高める。

「チャレボラ」の修了者・関係者を集めての「チャレボラ交流会」を開催する案が出された。しかし取組については、実施団体の自立性・独立性等を尊重し、部会での議論や意見の内容を関係者に伝えた。

■地域課題の現状調査の結果・検討経過等

1) 「チャレボラ」に関する意見

- ・ 児童にとって参加した年度だけで活動が終わってしまうのは非常にもったいない。
- ・ 0B 同士が交流する機会を設定することにより新たな活動や世代間交流の機会の創出につなげることができるのではないか。

2) プログラム現場見学 H25.8.7 グリーンハイツ集会場 H25.8.20 土橋会館

- ・ 区内で行われた選択プログラム「子育てサロンのお手伝い」を現場訪問し、参加学生が赤子や母親、年配のボランティア等の多世代と交流・活動するのを確認した。

■今後の課題・次期以降の区民会議への申し送り事項

1) その他の既存イベントへの世代間交流企画の提案について

- ・ 世代間交流イベントの例として、「夏休み子ども遊びランド」「子育てフェスタ」の紹介を関係者から受けた。(H25. 4. 17 開催の部会)
- ・ 世代間交流企画について、以下のような案が出された。
 - ① 高齢者から伝承遊び等を教わる母親達が、その技を身につけ、次世代への伝承者となり、イベントの運営側に自然に関わっていけるような講座や仕掛け。
 - ② 世代間交流をテーマとした交流の場の設定、例えばみやまえカルタを活用したコーナーの設置等

2) 実施上の留意点や今後について

- ・ 既存イベントへの企画の付加や変更は、主催団体の主体性・自主性を尊重する必要がある、区民会議としてできることは、企画の提案や働きかけに留まる。
- ・ 区民祭など、出店や出展、企画単位で参加が可能なイベントへの企画持込み・運営も検討されたが、調整・準備時間等の不足により、任期中の実現には至らなかった。今後も機会があれば、有志で検討や働きかけを継続したい。

※チャレボラ

市社会福祉協議会とかわさき市民活動センターが毎年開催する小学生～大学生のためのボランティア・福祉体験学習。(チャレンジ・ボランティアの略)

(申し送り) 提案C 世代間の対話につながる新たなプログラムの企画と実践

■申し送り・経過観察③ ボランティアコーディネーター※の育成

■目的：市民活動の連携や人材の交流や相互活用をコーディネートすることで全体を発展・活性化させることができる人材を育成し、区内で活躍してもらう。

■検討結果

地域で市民活動やボランティアをコーディネートできる人材を育成する必要性は共通で認識された。

しかし、活用のフィールド確保の課題や潜在ニーズの確認の必要性などから具体的な取組の提案には至らなかった。

■地域課題の現状調査の結果・検討経過等

1) ボランティアをめぐる現状に関する意見・分析等

- ・ シルバー人材センターなどの有償ボランティア派遣のしくみにおいて、求められる活動内容が、種類、量とも増えてきている傾向がある。
- ・ 学校支援センターでは、人材登録の少なさや、支援ニーズの整理不足などから、地域のニーズと地域の人材のマッチングを行う段階にまで至っていない現状がある。
- ・ 市民館では地域活動に資する人材育成に関する様々な講座が行われており、その中にはコーディネーター的視点に基づくものもあるが、講座の受講後に、地域現場での活動に必ずしも結びついていない部分がありそうだ。
- ・ 現状の活動状況から一定の満足を得ており、新たな展開や他の活動に興味・関心が薄い団体や個人も多い。全体の発展のために、視野を拓げるきっかけをつくりたい。
- ・ 連携のアイデアがあっても資金の獲得や協力者の募集など、プロデュースのノウハウや視点、人材が無くて実現できないケースもありそうだ。
- ・ まず既存の活動団体同士が互いに知り合うきっかけづくりが重要である。

■今後の課題・次期以降の区民会議への申し送り事項

- ・ 市民館等で開催している既存の人材育成関連の講座の経過を見守りながら、具体的な人材の育成・活動の場を確保していく方法について検討。

※ボランティアコーディネーター

ボランティア活動のつなぎ手として、

- ①ボランティア活動の支援
- ②ボランティア活動の希望者と活動ニーズの調整
- ③既存の活動団体同士の連携や人材の交流の仲介

などを行い、区内の市民活動の全体を俯瞰し適切な連携へと導く人材のこと。



第4章 宮前区区民会議フォーラム

みやまえと出会おう！ ～魅力発見・活力体験広場～

1. 企画概要

第4期宮前区区民会議の活動報告とPR、審議テーマに関する体験や学び、出会いや交流の場の創出を目的として、「区民会議フォーラム みやまえと出会おう！ ～魅力発見・活力体験広場～」を開催しました。

今回のフォーラムでは特に多世代の区民をターゲットとし、子ども・親・祖父母の三世代の誰もが参加して楽しめ、初めて会った人同士でも交流が進むようなプログラムを工夫するとともに、第4期宮前区区民会議の審議テーマである公園の活用や世代間交流を区内で実践されている市民活動団体に協力をいただきながら、宮前区の魅力・活力に触れていただけるような広場を目指しました。

当日は参加者を4つのグループに分け、全プログラムを通じてそのグループで各プログラムの体験や意見交換を一緒にすることで、参加者同士の交流がより深まるように工夫しました。各グループには区民会議委員が数名ずつ、案内役、意見交換時のリード・記録役として加わりました。

みやまえと出会おう ～魅力発見・活力体験広場～

日 時：平成26年3月15日（土）13：30～16：30

会 場：宮前区役所4階

企画概要：

- 1) 区民会議概要紹介…区民会議の仕組み、メンバー、審議テーマなど
- 2) 区民活動自慢ツアー…市民活動団体の展示ブースと関係者による紹介
参加団体：楽々タクミ13、風の泉、冒険遊び場、宮崎第4公園の活動
- 3) 体験・交流プログラム
 - ①公園遊びコーナー…野鳥クイズ、自然物クラフト、丸太切り体験など
協力：グリーンフォーラム21みやまえ
 - ②世代間交流ゲームコーナー 協力：かわさきネイチャーゲームの会
- 4) お休み処
 - ①区民会議紹介展示
 - ②坂道制覇者表彰…『みやまえ坂道ウォーク』の全坂道制覇者を表彰
 - ③世代間交流キャンペーンアイデア募集コーナー
- 5) 第4期宮前区区民会議提案紹介
- 6) グループ・ディスカッション（グループごとに感想・意見交換の話し合い）

※平成25年3月に開催した「区民会議フォーラム 宮前探検！発見！ウォークラリー・トークラリー」は、『第4期宮前区区民会議中間報告書』に掲載されています。区役所ホームページからご覧ください。

2. 開催結果

1) 開会式～区民会議概要紹介

当日は来場者、協力団体関係者、区民会議委員など合わせて約100人が参加しました。

小さい子どもを連れてお母さんや、小学生、中学生のお友達同士、『みやまえ坂道ウォーク』の全坂道を制覇し、記念品を受け取りに来た方など、年代、性別とも様々な参加者が集まりました。

導入として直本委員長より、区民会議の目的やメンバーなどの概要の説明を聞きました。



2) 区民活動自慢ツアー

グループごとに区内活動団体の展示ブースを巡るツアーを行いました。各ブースではそれぞれの活動団体の方々が熱心に活動をアピールしていました。

① 楽々タクミ13

地域資源を活用してものづくりの楽しさを体験学習してもらい、道具を使った物作りを次世代に伝えている団体。メンバーの手作りによる遊具の現物が展示され、その場で手にとったり、遊んだりできるようになっていました。



② 風の泉

九九暗唱の学習支援を地域で展開しており、心を育てる地域と世代部会で「世代間交流に資する団体」として支援が提案されました。関係者が実際に活動で使っているシールシートなどを示して実演するなど、熱心に説明していました。



③ 冒険遊び場支援委員会

現在区内4箇所で開催されている冒険遊び場。その場所を示した大きな地図を前に、子どもたちが自由に、いきいきと遊んでいる様子が紹介されました。



④ 宮崎第4公園の活動

宮崎第4公園で行われている様々な活動が紹介されました。同公園の公園体操に参加しているタレントのルー大柴さんも有志で登場し、身振り手振りを交えながら、熱心に活動を紹介する一幕もありました。



3) 体験・交流プログラム

二つの専門部会の審議テーマ、「公園の活用」と「世代間交流」に関連したプログラムです。

① 公園遊びコーナー（協力：グリーンフォーラム 21 みやまえ）

宮前区内の公園で見られる野鳥の名前当てクイズ、様々な種類のどんぐりや草花写真の展示、シュロの葉で編む様々な昆虫の実演などがありました。力を合わせてノコギリを使い丸太切りをするといった珍しい体験ができたこともあり好評でした。



② 世代間交流ゲームコーナー（協力：かわさきネイチャーゲームの会）

背中に貼られた生き物のカード。それぞれの参加者は自分の背中を見ることはできません。周りの参加者と話し、お互いに自分の背中の生き物の生態や特徴などを質問しあうことで、カードに描かれた生き物を当てるゲームです。参加者同士が笑顔になり会話が進むこのゲームは、フォーラムのアンケートでも好評でした。



4) お休み処

第1～3期の区民会議提案から生まれた取組を紹介する展示、『みやまえ坂道ウォーク』の全坂道制覇者の記念品引き換えコーナー（当日限定）、世代間交流キャンペーンのキャッチフレーズやロゴマーク募集コーナーなどが設置されました。

坂道ウォークをきっかけに来場し、初めて区のイベントに参加したという方もいました。各アイデア募集コーナーには参加者から楽しい作品が寄せられました。

また、宮前兄妹が登場して、参加者とふれあう場面もありました。（協力：着ぐるみ隊）



5) 第4期宮前区区民会議提案紹介

両部会長より、第4期宮前区区民会議の審議結果としてまとめられた提案内容の紹介がありました。当日は小学生などの参加もあったことから、できるだけわかりやすい言葉で語りかけ、メローやコスミンの会話形式で、提案の基となった課題の内容や、提案によって目指す宮前区の姿が紹介されました。



6) グループ・ディスカッション

全てのプログラムを一緒に体験した各グループに、協力団体や区民会議委員が加わり、フォーラムの感想や地域コミュニティの未来について意見交換を行いました。どのテーブルでも活発な議論が交わされていました。



■グループ・ディスカッションでの参加者の声（一部）

- ・ ネイチャーゲーム、のこぎりでコースター作りが楽しかった
- ・ 名前は知っていても知らない活動を知れてよかった
- ・ 区民会議が思っていた以上に活発に動いていることを知った
- ・ 区民会議が何か知らなかったがわかってためになった。何かできることがあれば参加したい。
- ・ せっかくなので、通りすがりの人も入れるように2階のロビーなどでできると良かった。
- ・ 公園は身近にあって多くの人に関わりやすい。みんなが相談しあって話し合えると良い。子育て世代の声を吸い上げてほしい。
- ・ こんなに色々な活動団体があることがわかった。これから一つの活動に参加してみたい。
- ・ もっと公園で自由に遊ばせることは大事。昔はナイフ、竹とんぼなどで自由に遊んでいた。
- ・ 今回だけのお祭りイベントで終わらせてほしくない。
- ・ 宮前区は他の地域に比べて地域活動がさかんな方だと思う。
- ・ 坂道ウォークのイベントをきっかけに今日は参加した。運動（健康づくり）をきっかけにして、地域になじみたい。特に男の人が参加しにくいようだ。
- ・ 普段はお母さん世代の活動をしているが、新しい方がそれほど増えない。



第5章 第5期以降に向けて

1. 委員アンケート結果概要

第4期宮前区区民会議の振り返りを行うため、第4期委員にアンケート調査を行い、第8回区民会議全体会で意見交換をしました。主な結果は以下のとおりです。

1. 地域課題の把握方法

良かった点	改善すべき点（5期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> 地域課題把握アンケートは良かった 委員がそれぞれ地域で取り組んでいる課題や関心を提出できたのは良かった 委員の意見を丁寧にまとめあげた 市民アンケートの説明が参考になった。特に区民会議の知名度など 前任委員の活動内容が聞けた 課題が多く出されたこと 行政との協力関係の自覚 	<ul style="list-style-type: none"> 会議以外で個人の時間を投入してもらう必要がある 守備範囲が広く、理解に精一杯だった 固い言葉が多く、わかりづらかった 宮前区に特化したものに絞るよう強調すれば、よりスムーズに議論に入れたか 委員所属団体にも課題提案してもらう 区役所窓口に一時的に提案箱を設ける 初参加委員のオリエンテーション開催

2. 審議課題のしぼりこみ

良かった点	改善すべき点（5期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> 時間をかけて議論できた 大切にしたいと思っている事を話せた 事務局の課題整理がわかりやすかった 関心の高い課題に取りくめた 様々な委員から、多くの情報をいただいた 地域住民の環境整備につながる検討 「まちづくりはひとづくり」の理念の共有 専門部会の数（2）も適当だった 	<ul style="list-style-type: none"> 課題が多く絞り込みが大変だった 委員全員の関心ごとにするのが難しい 部会同士の連携。共通点がもっと見出せた 全世代や全区を網羅することは無理 課題絞り込みが遅かった。解決提案の追求が足りなかった 投票などでテーマを絞り込んでも良かったか 身近な課題の他に、長い目で取り組むべき重要な課題に対する対処

3. 全体会の会議運営

良かった点	改善すべき点（5期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> 回数等、適当だった 共通認識を得る場として有意義だった 部会の進行、進捗確認の目安になった 他部会からの意見に刺激を受けた 部会長の報告が良かった 委員長の進行が明確でよかった 	<ul style="list-style-type: none"> 実務的な討論が難しい。報告中心で形式的。 意見交換の時間がもう少しほしい。 気軽に意見を言い合う雰囲気やや欠けた。 傍聴区民の意見を聞きたい。 傍聴者や報道にもわかりやすい説明 全員が発言できるような時間・進行管理。チャイムなどで時間を知らせるなど

4. 専門部会の会議運営

良かった点	改善すべき点（5期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な分野の人と意見交換ができた ・ 現場見学や関係者ヒアリングで、課題を実感し、具体的な意見が出やすくなった ・ 区内小学校アンケート調査が非常に有意義 ・ 部会長や事務局のまとめ、努力に感謝 ・ 居住地以外の地域を知ることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区内外の先進事例からもっと学ぶ ・ 後半に委員の出席率が低下した ・ もっと現場に出向いて話を聞く努力が必要 ・ 部会長に依存しすぎたように思う ・ 解決提案の検討が充分につめられなかった ・ 現地でも討論の場を持つ

5. 提案された課題解決の取組と進行管理

良かった点	改善すべき点（5期への課題）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗状況を知る機会があった ・ 継続的審議・進行状況の把握を図っている ・ 過去の提案や進捗状況が参考になった ・ 区企画課、コンサルタントの支援や資料提供 ・ 協働で、できることから取り組んでいること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案に実行を伴わせ、先に進んでいくこと ・ 形式的にならないよう、活動者の報告 ・ 第1～3期の審議内容を深め継続する。過去の委員から話を聞く機会を持つ ・ 区民会議OB会を設立し、提案事業を推進する ・ 現地見学会の開催

6. その他（自由記述）

- ・ フォーラム参加者と意見交換ができたことが良かった。
- ・ 多くの提案が事業化されて進行中であることを実感した。
- ・ 区民会議の知名度がまだまだ低い。なぜか分析が必要。
- ・ コンサルがフォーラム企画の中心となってしまう。企画委員と委員のやりとりを進めたい。
- ・ もっと広い視野で見ることができれば、物事の土台を動かすようなことも盛り込めるような力が区民会議にはあったのではないかなと感じている。
- ・ 区役所企画課への依存が大であったと感じた。①若い委員を集める。②定例専門部会の中に意見交換を深める場を持つ。③委員の意識改革。④長期的な視点の確保。などを提案します。
- ・ 区民の意識の汲み上げが極めて重要。身近な課題だけではなく、広い視野で区の課題を取り上げる。
- ・ 交通・施設などは長期的、専門的と立案が難しいが、継続的に検討できないか。
- ・ もうちょっとわかりやすい会議になればと願っております。
- ・ 今期のテーマで各町会のご意見を聞いてみたい。
- ・ 区民会議を知らないといわれることがとても残念。広報PRをお願いしたい。
- ・ もっと多くの人に認識されるために、身近なテーマやイベントで窓口を広くできれば良いと思った。年1回の区民会議フォーラムだけでなく、区民が参加できる機会があれば、良い。
- ・ 委員の世代が偏っているので、市民の感覚と少しズレがある気がした。
- ・ 区の長所を発掘し、地域社会に発信することに努める。地域を、宮前区を愛し親しむ心を育てたい。
- ・ 長期的課題については、1期目を実態調査、2期目は実現を困難としている問題の実情、3期目に課題解決を実現するための土台づくりなど、段階的に考える方法もあるのではないかと。
- ・ 各委員や区民の熱心な活動に心打たれた。



資料編

1. 審議課題一覧 選定過程整理表

分野	番号	ジャンル	委員アンケートで抽出された47課題
安全で快適に暮らす まちづくり (防犯・防災・交通、 住環境)	1	交通	通学児童の安全確保(稗原小)
	2		交通不便地域の対応
	3		公共交通不便地域(公共施設、高齢者対応)
	4		交通環境整備 区内の東西交通
	5	防犯	宮崎台駅前に交番
	6		子どもの安全確保
	7	住環境	トンネルの清掃(梶ヶ谷、尻手黒川線への道)
	8		デザイン性を高める建築物デザインの調和・チラシの作成など
	9		ラブホテル建設
	10	防災	災害に強い地域(電力、医療・薬、独居高齢者など)
	11		防災関連(避難路・場所の確認、水・食料の備蓄など)
	12		防災対策(各家庭での備え、備蓄、帰宅困難者対応など)
幸せな暮らしを 共に支える まちづくり (地域福祉・健康)	13	健康	健康増進(医療保険料、生活習慣病、介護者などの増加)
	14		スポーツ指導環境の充実(生涯スポーツ団体)
	15		坂道を活かしたまちづくりの長期的な推進
	16	地域福祉	福祉ゾーンの形成(施設招致など)
	17	高齢者	孤立死の防止、交流イベントや集まれる場の設定
人を育て 心を育む まちづくり (子育て・生涯学習・人権)	18	子育て	孤独死・孤立死問題、見守りの組織づくり
	19		「地域」意識の向上 子育て卒業が地域卒業になってしまう
	20		地域高齢者による子育て支援や学習支援の強化
	21	家庭教育の支援強化	
22	生涯学習	定年後の生きがい探し	
環境を守り 自然と調和した まちづくり (エコ・自然・公園)	23	自然	環境問題(花とみどりのまちづくり)
	24		住民の手による「緑あふれるまちづくり」の推進
	25		緑の保全、緑のある地域づくり
	26		平瀬川の水質(地下水路からの汚水の流入、モニター化)
	27	公園	土橋7丁目公園にトイレ設置を
	28	エコ	廃棄物の減量化(まちづくりでの取組)
活力にあふれ 躍動する まちづくり (産業振興)	29	農業	農業の育成(分散農地の効率化など)
	30		農産物地産地消の推進
	31	産業	起業家塾の提案
	32		地場産業活性化(中堅企業の育成)
個性と魅力が輝く まちづくり (魅力発信・芸術振興)	33	魅力	友好都市との交流(長野県佐久市など)
	34		観光大使、親善大使の組織化
	35		新住民に対する地域の広報
	36		音楽のまちに合った施設や競技場の建設
参加と協働による 市民自治のまちづくり (地域コミュニティ・ 区役所サービス)	37	区役所サービス	区ホームページの充実
	38		多すぎる回覧物
	39		地域サービスのネット検索システムの導入
	40	地域コミュニティ	みんなが参加できるお祭り
	41		世代間交流機会の増加
	42		世代間交流(幅広い世代が参加できるグループ)
	43		「地域」意識の向上(30~40台をターゲットに)
	44		町内会、子ども会の加入率減少対策
	45		町内会・自治会活性化
	46		コミュニティづくり(地域の輪や近隣のつながり)
その他	47	その他	第1期~第3期の提案の見守りと検討

第1回準備部会 絞り込み →9課題	第2回準備会、第2回全体会 専門部会の立上げ →8課題
除外:区所管課対応中	
委員投票で落選	
除外:県への要望にとどまる	
委員投票で落選	
除外:毎年整備補修予算計上	—
委員投票で落選	
除外:噂にすぎないことが判明	
除外:地域防災計画見直し中	
委員投票で落選	
除外:地域防災計画見直し中	
委員投票で落選	
「スポーツ環境の充実」	「スポーツの推進」環境を活かした人づくり部会
委員投票で落選	—
「孤独死・孤立死問題」	「孤独死・孤立死問題」心を育てる地域と世代部会
「子育て親の地域意識」	「子育て親の地域意識醸成」心を育てる地域と世代部会
「高齢者による学習支援」	「こどもの教育を支援(学力・家庭教育)」心を育てる地域と世代部会
委員投票で落選→統合	
「定年後の生きがいさがし」	「定年後の生きがいさがし」心を育てる地域と世代部会
「花と緑のまちづくり」	「花・緑・川など身近な環境」環境を活かした人づくり部会
除外:関係局への要望→統合	
除外:関係局への要望に留まる	—
委員投票で落選→まちをきれいに統合	
除外:関係局への要望に留まる	—
「地産地消の推進」	区の実践や第3期の議論経過から不採用を決定
委員投票で落選	
除外:要望に留まる	
委員投票で落選	
「参加できるお祭り」	「区民主体のお祭り」環境を活かした人づくり部会
委員投票で落選→統合	
委員投票で落選	—
「町内会・子ども会活性化」	「町内会・自治会・子ども会の活性化」心を育てる地域と世代部会
除外:継続事項	—

2. 第4期宮前区区民会議 委員名簿 (敬称略)

	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画	環境人	民生				
1			○	平井 賞子	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2		○		大村 康平	団体推薦	②福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3		○		福田 美巨	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4		○		森山 征男	団体推薦		宮前区スポーツ推進委員会
5			○	田浪 由紀子	団体推薦	③子育て・教育	宮前区子ども・子育てネットワーク会議
6			○	豊島 このみ	団体推薦		宮前区民生委員・児童委員協議会
7	○		◎	大槻 幹雄	団体推薦		宮前区地域教育会議
8		○		本郷 一雄	団体推薦	④自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 みやまえ世話人会
9	○		○	☆宮崎 孝	団体推薦	⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会
10		○		白井 志津子	団体推薦	⑥文化・観光	宮前区文化協会
11			○	佐藤 林吉	団体推薦	⑦地域組織・まちづくり	宮前区全町内・自治会連合会 (向丘地区)
12		○		芒崎 八重子	団体推薦		宮前区全町内・自治会連合会 (宮前地区)
13		○		浦野 珠里	団体推薦	⑧地域特性	フロンタウンさぎぬま
14		○		藤田 信吾	団体推薦		宮前区まちづくり協議会
15			○	太田 公子	公 募	公 募	
16			○	岡 毅一郎	公 募		
17	○	◎		佐々木 良司	公 募		
18	○	○		☆黒沢 一之	区長推薦	区長推薦	宮前区全町内・自治会連合会 顧問
19			○	やました ひろし 山下 浩	区長推薦		第3期宮前区区民会議 委員長
20	◎	○	○	★直本 たかこ 直本 享子	区長推薦		第3期宮前区区民会議 副委員長

★…委員長 ☆…副委員長 ◎…部会長 ○…部会メンバー

【区民会議参与】

市議会議員 浅野文直、石川建二、石田康博、織田勝久、添田勝、竹田宣廣、田村伸一郎
矢澤博孝、山田晴彦

県議会議員 飯田満、土居昌司、持田文男

3. みやまえ区民会議だより

第22号 (平成24年8月1日)

第3期区民会議提案はどんな感じで進んでる？

坂道を活かしたまちづくり

宮前区の特徴である坂道を活かし、まちの魅力PRや健康づくりなどの活力づくりにつなげます。

5月～坂道もららくウォーキング教室開講



▲フロントタウンがコアで「坂道もららくウォーキング教室」を開催中。夏は緑も爽やかな空気に爽やかです。

秋頃「みやまえ坂道ウォーク」開催

区内にあるたくさんの坂を身近に感じてもらいながら健康づくりや地域の魅力を体感してもらいましょう。ウォーキングコースを設定。周辺のあじこころを盛り込んだガイドを発行します。

地域参加を促す雑誌づくり

区民主体で、宮前区の魅力的な情報を発信することで、地域を楽しくしてもらい、地域への参加につなげます。

5月～みやまえ情報誌ポータルズ作成協議会開講

区の情報発信を担う人材を育成するため、市民館の講座として開講。タウン誌の記者らと連携しながら企画・取材・執筆・写真撮影などを実践。インターネットを通じて情報発信も行います。



12月頃 情報誌ポータルズの学習雑誌発行

転入世帯への対応を中心として、10000部発行予定。「川崎朝日」といった宮前区にのびのびと暮らす人々の生活や、地域コミュニティの発展へとつなげます。

第4期 第2回区民会議

8月27日(月)18:15～ 宮前区役所4階大会議室

区民会議の詳細、開催スケジュール等は、区ホームページからもご覧いただけます。
<http://www.city.kawasaki.jp/03/0301/03010001/030100010001/index.html>

お問い合わせ

●過去の審議内容
区民会議ホームページ上に1期～3期の会議資料・議事録等が公開されています。
●傍聴
区民会議の全体会は先着50名、専門部会は会場より先着5～10名まで傍聴が可能です。
ご同様の有る方はぜひお越しください。
●担当部署
〒216-8570 宮前区役所企画課
TEL:044(856)3136, FAX:044(856)3119, メール:69%kikaku@city.kawasaki.jp

平成24年8月1日
宮前区誕生30周年
区民会議だより 第22号
発行:宮前区役所企画課
TEL:044-856-3136
FAX:044-856-3119

第4期 宮前区区民会議 始動



第4期初となる区民会議が5月22日に開催され、第4期の活動がスタートしました。第3期からの再任7名・新任13名の合計20名(p2～3で紹介)で地域の課題を解決するため審議を進めていきます。第3期の成果や反省を踏まえながら、宮前区のまちづくりにつながるような運営を目指していきます。

質問！区民会議って・・・何？

地域の課題になっていることを選び、解決方法を考え、区長に提案する会議です。

- 地域の状況を知る**
地域の状況や様々な課題を調査、整理・分析します。
- テーマを選ぶ**
地域の課題を挙げて、その中から年次中心に取り上げる審議テーマ5種を年次報告から決めます。
- 解決に向けて**
先進事例の調査などとし、解決策やアイデアを話し合います。
- 区長へ提案**
誰がやるのか、どんなスケジュールで進めるのか、など実現を促して、区長へ提案します。
- 実践しよう！**
地域の様々な活動団体と区役所が連携しながら、地域全体で提案を推進します。

第4期区民会議委員の紹介

(平成24年4月1日～平成26年3月31日)
今後2年間にわたって、宮前区の地域課題について話し合う、区民会議委員のプロフィールと抱負を紹介します。(平成24年8月1日現在)

氏名 (あひらがた) 姓敬称 略称 姓 ①住所地 ②選出元 ③宮前区のココが好き ④区民会議での抱負	プロフィールの裏 宮前兄妹 (みやまへいご) だより ①くやくし ②よメロン ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	藤田 信吾 (ふじたしんご) ①けやき平1 ②丁必まづくり協議会 ③文芸委員会 ④交通安全 ⑤区民が行政と協働して取り組める課題 ⑥解決に向けて ⑦行政主導でなく区民が主体的に活動できる形の取組をしたい。	嶋崎 八重子 (しまざきやえこ) ①けやき平1 ②内・自治会連合会 ③会(宮前区) ④健康課 ⑤安全・安心で住めるまちづくり ⑥安全・安心で住めるまちづくり ⑦安全・安心で住めるまちづくり ⑧安全・安心で住めるまちづくり		
委員長 藤本 享子 (ふもとたかこ) ①宮前平3 ②丁必まづくり協議会 ③文芸委員会 ④交通安全 ⑤区民が行政と協働して取り組める課題 ⑥解決に向けて ⑦行政主導でなく区民が主体的に活動できる形の取組をしたい。	副委員長 藤沢 一之 (ふさざわいち) ①平3丁目 ②区民連合会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	山下 浩 (やましたひろし) ①平3丁目 ②区民連合会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	田津 由紀子 (たづゆきこ) ①平3丁目 ②子ども子育てネットワーク会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	瀧野 珠里 (たきのしるみ) ①平4丁目 ②宮前区 ③ココが好き ④区民会議での抱負	佐藤 利吉 (さとうとしきち) ①水沢3丁目 ②宮前区 ③ココが好き ④区民会議での抱負
副委員長 宮崎 孝 (みやざきたかゆき) ①高橋神社の裏の商店街 ②交通安全 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	平井 貴子 (ひらいきこ) ①宮崎5丁目 ②安全・安心まちづくり推進協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	豊島 このみ (とよしまこのみ) ①平3丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	森山 健男 (もりやまけんお) ①平3丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	白井 志津子 (しらいしづこ) ①土橋7丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	岡 敏一郎 (おかとしやういち) ①土橋7丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負
大村 康平 (おほむらこうへい) ①宮前平3丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	福田 義彦 (ふくだよしひこ) ①五所塚1丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	本郷 一雄 (ほんごうかずお) ①平3丁目 ②グリーンパーク ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	水田 公子 (みづたこうこ) ①宮崎2丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	佐々木 良司 (ささきりょうじ) ①平3丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負	大原 幹雄 (おほはらみづお) ①平3丁目 ②民生委員・児童委員協議会 ③宮前区 ④ココが好き ⑤区民会議での抱負

第23号 (平成25年3月1日)

ひやまゑ
くみんかい
ぎ
区民会議だより

平成25年3月1日

宮前区誕生30周年
特別号(まちと市民25年へ)

発行：宮前区役所企画課
TEL 044-856-3136
FAX 044-856-3119

http://www.city.kawasaki.jp/miyamae/category/117-10-1-0-0-0-0-0-0.html

第23号

第4期宮前区区民会議フォーラム みやまゑ探検!発見!ウォークラリー-トークラリー-開催

参加者募集 開催日: 3月20日(水祝) 10:00~14:00

昨年5月にスタートした第4期宮前区区民会議。これまでの区民会議の活動成果を区民の皆様と一緒に体験する「みやまゑ探検!発見!ウォークラリー-トークラリー-」を開催します。

3月15日から電話(044-856-3136)が窓口で区役所企画課へ申し込みください。各コース先着10名。1部・2部通しての参加をお願いします。歩きやすい服装・靴、お弁当又は軽食代持参。

■第1部(午前)ウォークラリー

区内各地

チームに分かれて区内を歩いて探検。これまでの区民会議の取組や様々な市民活動の現場をご紹介します。いづれも階段や起伏のある3~4kmのコースです。

※雨天・荒天時は11:00宮前区役所集合

宮崎台コース 宮崎台駅→宮前区役所
宮崎台駅南口駅前広場に10時集合
ハープ・ティー体験・公園での市民活動紹介(予定)

鷺沼コース 鷺沼駅→宮前区役所
東急電鉄 徒歩1と暮らしのコンシェルジュ
鷺沼駅前店に10時集合(正面改札出て右手)
ポール・ウォーキング体験・眺望ポイント紹介(予定)

■第2部(午後)トークラリー

区役所大会議室

宮前区のクイズや「みやまゑカルタ」を楽しみながら、宮前区の魅力を再発見!区民会議委員とウォークラリーの参加者でこれからの「みやまゑ」を語ります。ウォークラリー優勝チームには贈品です。

※会場には保育ボランティアの方も参加いただけます
※トークラリーのみの傍聴を希望される方は当日12時半区役所大会議室で受付(先着20人)

ぼくたち宮前区民も思っていますか?!

区民会議発!宮前区を好きになる情報誌「ぐるっとみやまゑ」発行

宮前区の魅力、地域のお祭りや市民活動、行政情報誌などの情報を、子育て世代・働き世代・シニア世代の3世代の視点から多角的に紹介。宮前区を楽しみ、宮前区がもっと好きになる、地域にどンドン参加するためのヒントが満載の情報誌です。

第3期区民会議の提案が基となり、昨年開催された「みやまゑ情報サポーターズ養成講座」の受講区民が冊子の企画や取材からデザインまで関わって作成した、区民の、区民による、区民のための冊子です。

第4期区民会議 検討経過のご報告

二つの部会に分かれて、地域の課題解決に向けた検討を進めています。

環境を活かした人づくり部会

テーマ:
環境を活かした人づくり
スポーツの推進、鳥・緑・川など身近な環境、区民主体のお祭りなど

区内の活動現場の見学会を実施

“人づくり”には、目的意識を共有できるコンテントづくり、情報発信の重要性などが指摘され、まず区内の既存の活動の現場の見学会を行いました。

▲人づくりにつながっている花壇づくりや、学校と連携した自然体験活動などの発案活動の説明を受けました。

区内の緑を地図で整理

まず緑関係を中心に議論を進めるために、地図上で、区内の公園、緑地、並木、花壇などの緑を整理。それぞれの活動の場としての情報や課題を共有しました。

今後は…スポーツ関係も含めて、人づくりの具体的な手法、提案を探っていきます。

地域・世代間交流部会

テーマ:
地域間・世代間の交流

地域組織活性化、地域意識醸成、こどもの教育支援、定年後の生きがい探しなど

区内小学校と地域連携の実情を調査

“地域・世代間の交流”には、家庭教育や地域教育の重要性などが指摘され、まず区内の小学校を対象に地域との連携、地域の人材活用の実情のアンケート調査を行いました。

▲学校支援センターの担当職員にもヒアリングを行い、授業内外での地域との交流が明らかになりました。

心の教育、分野を超えた連携の構築

学校以外の場における交流を通じた“心の教育の場”を目指すこととし、連携方法やコーディネーターの育成方法を模索する議論を進めています。

今後は…モデルコース、既存活動の連携をしやすくする仕組みを探っていきます。

【問い合わせ】

ホームページ「宮前区区民会議」で検索
区民会議の詳細、開催スケジュール、これまでの経過(第1~3期含む)の会議資料・議事録等が公開されています。

■傍聴
区民会議の全体会は先着50名、専門部会は会場により先着5~10名まで傍聴が可能です。ご興味のある方はぜひお越しください。

■ご意見
区民会議に対するご意見、区民主体で解決した方がよい地域課題などをお寄せください。今後の議論の参考とさせていただきます。

〒216-8570 宮前区役所企画課
TEL : 044 (856) 3136, FAX : 044 (856) 3119, メール: 69kikaku@city.kawasaki.jp

第24号 (平成25年6月1日)

ひやまゑ
くみんかい
ぎ
区民会議だより

平成25年6月1日

発行：宮前区役所企画課
TEL 044-856-3136
FAX 044-856-3119

http://www.city.kawasaki.jp/miyamae/category/117-10-1-0-0-0-0-0-0.html

第24号

ウォークラリー-トークラリー-で宮前区の魅力や課題を発見!

平成25年3月20日(水祝)に宮前区区民会議フォーラム「みやまゑ探検!発見!ウォークラリー-トークラリー-」を、区民会議の主催で開催しました。

地域の10代から80代の方や、運営側として参加した区民会議の委員や市民団体など、合計70名ほどが参加し、様々な企画を通して宮前区の魅力や課題、市民活動を体験しました。

ウォークラリー
午前中は4チームに分かれた参加者たちが、宮崎台コースと鷺沼コースに分かれて宮前区の魅力や課題、区民会議の審議に関連する市民活動などを体験しました。

- 宮崎台コース
コミュニティガーデンの活動紹介
ハープ体験・公園での市民活動紹介
公園体験・太極拳体験など
- 鷺沼コース
カッパ作り体験、ポールウォーキング体験、鷺沼公民館展望ポイント紹介など

新開花壇の見学(宮崎台コース) ポールウォーキング体験(鷺沼コース)

世代間交流

ウォークラリーとトークラリーの合同に、みやまゑクイズ&カルタに挑戦。対抗戦でどのチームも白熱!世代間交流も深まりました。

トークラリー

午後は会議室に集まって、現ごとに今期の区民会議の審議テーマである地域の「担い手育成」や「世代間交流」に関して話し合うトークラリー。自分自身の近所づきあいや市民活動の経験を踏まえて、活発な意見交換を行いました。

参加者のコメントから

- ・宮前区の知らなかったところを知ることができた。
- ・平日の市民活動にはなかなか参加できない。誰かから直接声をかけてもらうことが参加への近道。
- ・テーマが明確だと活動に参加しやすい。
- ・地域のサークル活動をもっと増やせると良い。
- ・もっと区民会議の認知度を上げ、楽しみをもってもらう

区民会議ではいただいたご意見も参考に、残りの任期(今年度末まで)で地域の課題解決の提案をまとめます。参加者のみなさま、ありがとうございました。

ご存知ですか? 宮前区のこんな取組

宮前区では地域コミュニティを豊かにさせる様々な取組が区民会議と関わりながら進められています。今回はその中の2つの取組をご紹介します。

宮前区の次世代を育む 冒険遊び場

冒険遊び場は、公園を活用し、地域ぐるみで子どもを見守り、育てていく場です。子どもは、やりたいと思ったことに挑戦し、失敗やケガも自分で受け入れていくことで、生きる力を身に付けていきます。

びびよ
(乳幼児)
小台公園
毎月第2木曜
16:30~12:00

ひこうきも
宮崎第一公園
第1・3火曜
10:30~12:00

つちほしスレーパー
土曜1丁目公園
毎月第1土曜
11:00~16:00

ふるさと公園フレイバー
有馬ふるさと公園
第3土曜
毎月第3土曜
11~17:00(3~10月)
11~16:00(11~2月)

冒険遊び場は、地域の人が中心となって、現在区内4箇所で開催されています。イベントなどの大人気で楽しんでいるので、一緒に遊び場へ行ってみませんか?

【第2期区民会議提案】

宮前区の宝がし みやまゑカルタ

各中学校区のカルタや宮前区全域のカルタがあるのはご存知ですか? 宮前区の地域資源をカルタとしてまとめ、楽しみながら地域への愛着を深めてもらうと作られたものです。

お化け打撃は川崎市青少年の家の敷地内にあります。

お化け打撃は川崎市青少年の家の敷地内にあります。

中学校区のカルタは、区役所地域振興課で貸出中。区のカルタは区役所売店にて1組1,000円で販売しています。それぞれのカルタには詳細の解説も書かれていて、宮前区を深く知る資料としても活用いただけます。イベントなどの大人気で楽しめるジャンボカルタ(A3版)も貸し出しをしているので、ぜひ活用ください。

【第2期区民会議提案】

【問い合わせ】

ホームページ「宮前区区民会議」で検索
区民会議の詳細、開催スケジュール、これまでの経過(第1~3期含む)の会議資料・議事録等が公開されています。

■傍聴
区民会議の全体会は先着50名、専門部会は会場により先着5~10名まで傍聴が可能です。ご興味のある方はぜひお越しください。

■ご意見
区民会議に対するご意見、区民主体で解決した方がよい地域課題などをお寄せください。今後の議論の参考とさせていただきます。

〒216-8570 宮前区役所企画課
TEL : 044 (856) 3136, FAX : 044 (856) 3119, メール: 69kikaku@city.kawasaki.jp



みやまえ 区民会議 だより

第 25 号

平成 25 年 10 月 1 日

発行：宮前区役所企画課
TEL: 044-856-3136
FAX: 044-856-3119

地域課題の解決を図る提案、検討中。

平成 24 年 5 月に活動をスタートした第 4 期宮前区民会議。平成 26 年 3 月の任期終了を控え、地域課題の解決を図る提案の検討作業も大詰めを迎えています。二つの部会でそれぞれ取り上げた地域課題、まとまりつつある提案の概要を紹介いたします。

環境を活かした人づくり部会

満野味里、大村謙平、黒沢一之、佐々木尚司、白井志津子、島本享子、岡八重子、福田美苗、本郷一雄、藤田信吾、森山征男

地域課題：公園の活用促進・維持管理への参加推進、子どもの遊び場、緑化の推進など

公園という身近な環境を通じて、地域で活躍する「人」を育て、地域のコミュニティを活性化しよう！

公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用しよう！

区内の公園への樹木、草花名プレート（第 2 期提案）や公園体操（第 1 期提案）の拡大・推進、ネイチャーゲームを用いた世代交流の増進などが案として挙げられ、具体的な手法や担い手を検討しています。

公園の維持管理に多くの区民がかかわる仕掛けをつくらう！

地域主体の公園管理の促進として、公園管理運営協議会・公園愛護会にスポットをあて、未設置公園への参加者募集の広報等による設置促進、用具貸出などの既存の活動への支援の周知・強化などについて検討しています。

心を育てる地域と世代部会

大田弘子、大塚祥雄、岡野一、名藤祥浩、宮崎孝、田邊由紀子、島本享子、山手真由、中井真子、山下真

地域課題：多世代交流、市民活動連携、子どもの健全育成、文化や体験の共有・伝承など

多様な人材・世代が地域で交流し、連携する場を創出することで、子どもたちの健全育成や、文化・体験の共有と伝承につなげ、区民の「心」を育もう！

世代間交流に取り組み市民活動を支援しよう！

区内小学校で小学生への九九暗唱支援活動を通じて、世代交流の機会や地域で教育を考える機会をつくるといった活動を展開している「風の泉」に対する広報支援などについて検討しています。

世代間交流を促進し、区民の心を育もう！

既存のイベントに世代交流の仕掛けや企画を付加する案、対話をセッティングする案、その他、文化・体験の共有を世代間交流の場、アーカイブ事業として実施する案も検討しています。また、これら機会を踏まえた世代交流を促進するキャンペーン展開するなど様々な案が議論されています。



みやまえ 区民会議 だより

第 25 号

平成 25 年 10 月 1 日

発行：宮前区役所企画課
TEL: 044-856-3136
FAX: 044-856-3119

ど存知ですか？ 宮前区のこんな取組

今回は第 4 期宮前区民会議の審議テーマに「公園の活用促進・維持管理」が深く、より多くの区民に参加していただくため、活動を普及していくための支援・推進の対象として検討されている活動を二つ紹介いたします。

公園愛護会・公園管理運営協議会

公園管理運営協議会による花壇活動例（平三丁目公園）

公園管理運営協議会による花壇活動例（平三丁目公園）

町内会等の地域住民で公園の除草・清掃活動等を行う「公園愛護会」。その活動をさらに一歩深める「公園管理運営協議会」。公園管理の協定を市と結ぶことで、より広範な維持管理や運営に関わる活動が行えるようになるだけでなく、公園利用のルールづくりやコミュニティの場としての活用などを市と協働で行い、その活動に対しては市から報奨金が出されます。皆さんが普段利用している公園も地域の方が管理して下さっているかもしれませんね。

環境を活かした人づくり部会では、管理組織未設置の公園における「公園愛護会」の立上げや、既存の「公園愛護会」の「公園管理運営協議会」への移行を推進する取組を検討しています。

風の泉 九九暗唱学習支援活動

学習支援を通じたコミュニティづくり

▼有馬小学校で行われた活動の様子

▼先期中学生もボランティアに参加

小学校の学習で、最初のつまづきの原因となってしまうことも多いといわれる掛け算九九。その学習を地域のボランティアが支援する活動です。

子どもたちの九九の暗唱を聞くという、誰でも参加しやすい簡単な活動ですが、様々な地域の人に関わることで、学習面の効果だけでなく、子ども達の新たな一面や成長が見えたり、地域で子ども達の成長を多世代で共に考え、見守り、話し合う場となっています。

土橋小学校で始まった活動は、現在区内 4 小学校で実施され、少しずつ広がっています。

心を育てる地域と世代部会では、この活動への支援を検討しています。

このあわせ

- ホームページで区民会議の経緯、スケジュール、過去の開催もめた会議資料や議事録が公開されています。「宮前区民会議」でご検索ください。
- 区民会議の全体会は先着 50 名、専門部会は会場より先着 5~10 名まで会議の様子が観覧できます。ご興味のある方はぜひお越しください。
- 区民会議に対するご意見、ご要望などお寄せ下さい。今後の議論の参考とさせていただきます。

〒216-8570 宮前区役所企画課
TEL: 044 (856) 3136, FAX: 044 (856) 3119, メール: 69kikaku@city.kawasaki.jp

第 7 回 区民会議 全体会
11/20 (水) 18:15~20:15
区役所大会議室

区民会議フォーラム
平成 26 年 3 月 15 日 (土)
詳細未定ですが、第 4 期区民会議の開催、活動を共に振り返り、考える場となります。たくさんの方の区民の皆さまの参加をお待ちしています。



みやまえ 区民会議 だより

第 26 号

平成 26 年 2 月 1 日

発行：宮前区役所企画課
TEL: 044-856-3136
FAX: 044-856-3119

区長に区民会議の提案を提出しました。

平成 25 年 12 月 12 日、第 4 期宮前区民会議の約 2 年間の審議結果をまとめた提案書を区長に提出しました。

区長は「川崎市市民会議案第 10 案に基づき、区民会議の審議結果を尊重して、区民のみなさんとの連携と協働で提案の実現に努めたい」とコメント。委員長も「任期が終わっても区民として地域でできることをしていきたい」と語りました。

環境を活かした人づくり部会

公園という身近な環境を通じて、地域で活躍する「人」を育て、地域のコミュニティを活性化しよう！

① 宮前区マイパーク・ネット (仮) の設置 公園関係団体のネットワークの構築

② 公園に関する情報の発信・共有 広報誌や HP を活用した情報発信

③ 公園のコミュニケーション機能強化 活動用品の貸出、人材育成講座の開催など

④ 樹木草花名プレートの設置・活用 ⑤ 冒険遊び場の推進

⑥ 公園体操の拡大開催 ⑦ ネイチャーゲームの普及

宮前区マイパーク・ネット (仮) を推進する中で実現に向け取り組む

⑧ 地域が主体となった公園管理の促進 花壇づくりをきっかけとした公園管理組織向上促進

心を育てる地域と世代部会

多様な人材・世代が地域で交流し、連携する場を創出することで、子どもたちの健全育成や、文化・体験の共有と伝承につなげ、区民の「心」を育もう！

① 世代間交流に資する市民活動へのサポート 広報紙により既存の活動団体へ支援

② 世代間交流のキャンペーン展開 既存の活動の周知・広報・ネットワーク化に向けて展開

③ 世代間で交流する対話の場を企画 子ども達や親子の体験、対話の共有の場の創出

④ アーカイブ事業の実施 区の歴史文化等の情報を世代間交流を取り入れながら集めて記録



みやまえと出会う!!

～魅力発見・活力体験広場～

3/15

13:30~16:30

宮前区役所 4 階大会議室

第 4 期区民会議のテーマとなった「公園を活用した人づくり」「世代間交流」などを参加者の皆さんと体験しながら交流、話し合うイベントを企画しました。高齢者からお子さんまで多くの区民の皆さまのご参加をお待ちしています。

【第 4 期宮前区民会議委員一同】

皆様のご参加をお待ちしています!

プログラム (予定)

区民活動自慢ツアー

今期の審議テーマとなった世代間交流や公園活用に関する区内の活動団体が出展。その内容や活力の秘密をミニツアー形式で紹介いただきます。

区民会議の紹介

区民会議の審議結果をご報告。地域での提案の実現や今後の活動の充実に向けて、話し合います。

宮前兄妹に家族登場!?

もし宮前兄妹に家族がいたら皆さんの作品応募会場でまってるよーたらどんな家族でしょう? 宮前区で世代間交流をキャンペーンしていただくのアイデアを募集します。

体験・交流プログラム

- 公園遊び 区内の自然・野鳥に関するクイズ、草木などを活用したクラフト体験など。
- 世代間交流ゲーム 多世代が知り合うことのできるコミュニケーションゲーム体験。
- お休み処 お茶やお菓子でちょっと一息。

坂道制覇者集まれ!

区民会議提案で作られた『みやまえ坂道ウォーク』。全コースを制覇し、36・37 ページを完成させた冊子をもちこなって参加された方には、当日に限り品物を差し上げます!

このあわせ

- ホームページで区民会議の経緯、スケジュール、過去の開催もめた会議資料や議事録が公開されています。「宮前区民会議」でご検索ください。
- 区民会議の全体会は先着 50 名、専門部会は会場より先着 5~10 名まで会議の様子が観覧できます。ご興味のある方はぜひお越しください。
- 区民会議に対するご意見、ご要望などお寄せ下さい。今後の議論の参考とさせていただきます。

〒216-8570 宮前区役所企画課
TEL: 044 (856) 3136, FAX: 044 (856) 3119, メール: 69kikaku@city.kawasaki.jp

今後の予定

第 8 回 区民会議 全体会
2/12 (水) 18:00~19:30
区役所大会議室

「みやまえと出会う!!」～魅力発見・活力体験広場～
平成 26 年 3 月 15 日 (土)
詳細未定。たくさんの方の区民の皆さまのご参加をお待ちしています。

51



みやまえ 区民会議 だより

平成 26 年 4 月 1 日

発行：宮前区役所企画課
TEL：044-856-3119
FAX：044-856-3119

http://www.city.kawasaki.jp/miyamae/category/117-10-1-0-0-0-0-0-0.html 第 27 号

第 4 期活動ダイジェスト

第 4 期宮前区区民会議の活動が平成 26 年 3 月末をもって終了となりました。2 年間の活動を振り返ります。

1 第 4 期の審議テーマは 2 つ。誰も身近にある公園に着目した「環境を活かした人づくり」と、こどもたちを豊かに育み区民が互いに助け合う環境をつくっていくかを考えた「心を育てる地域と世代」です。



公園の自然環境を活かして、環境を育む活動を行いました。

宮前区区民会議



平成 24 年 5 月に 2 人の委員で活動スタート!

2 「環境を活かした人づくり部会」では、区内公園・活動現場の視察、「心を育てる地域と世代部会」では、学校授業における地域人材活用アンケート調査などを行い、地域の現状把握にも努めながら審議を進めました。



「心をつなぐダイジェスト」に撮影中!

3 平成 24 年度末には「みやまえ探検! 発見! ウォークラリー・トークラリー」を開催し、区内探索やクイズ、カルタ等の交流や体験を通じて地域の未来を考えました。



区民委員が区長や区長に提案を伝えています。

4 審議の結果としてまとめた取組提案を、平成 25 年 12 月に石塚区長に提出。行政と地域の協働で、提案の実践、区民務がすみやすく、幸せな地域の実現を目指します。

区民会議提案

2 年間の審議結果をまとめた区民会議提案書。第 1 期～4 期、8 年に及ぶ審議の結果を区役所ホームページからご覧いただけます。



傍聴者の声

- ・若い世代の意見のくみ上げに期待。
- ・世代を超えたコミュニケーションを。
- ・区民会議での成功事例を他自治体にも広報してみたい。
- ・困っている人の改善に向けた提言を期待。

第 4 期の活動をふりかえって...

第 4 期宮前区区民会議委員たちが、2 年間の活動をふりかえった感想や意見

まちづくりは人づくりの理念を共有しました。 区民からもっと意見聴取で感のない宮前区を愛し、親しむ心を育てたいです。

改めて、区長と区役所の連携した事業の多さを感じた。現場を見て感じる事が大切。素晴らしいモデルから学ぶ。

区民会議委員の 0 日金を設立して、提案実現のサポートを! 過去の委員に話を聞く機会があれば良かった。

2 年間の任期よりも、長期的なスパンで課題を捉えていく視点が良かった。

自分たちの地域の未来を考える若い人に参加してもらいたい

様々な団体が活動する委員さんと交流でき、区の課題の範囲の広さに驚いた。

全員の関心を継続させるのが難しい。

認知度向上の意味からも、区民に積極的に情報を発信したい。

第 4 期宮前区区民会議委員の皆さん

2 年間本当にありがとうございました!

根本孝子(委員長・区民委員) 黒沢一之(副委員長・区民委員) 宮崎孝(区民委員・宮前区福祉協議会) 大槻幹雄(心を育てる地域と世代部会会長・宮前区地域教育会議) 佐々木良尚(環境を活かした人づくり部会会長・公明) 満野珠理(フロンティア支部) 太田公子(公明) 大村康平(宮前区社会福祉協議会) 岡野一(公明) 佐藤林真(宮前区全期内・自治会連合会 向日地区) 白井志津子(宮前区文化協会) 田邊由紀子(宮前区こども・子育てネットワーク会議) 齋藤このみ(宮前区民生委員・児童委員協議会) 正崎八重子(宮前区全期内・自治会連合会 宮崎地区) 平井真子(宮前区安全・安心まちづくり協議会) 福田美居(宮前区老人クラブ連合会) 藤田信昌(宮前区まちづくり協議会) 本郷一雄(フロンティア 21 みやま未来協議会) 森山征男(宮前区スポーツ推進委員会) 山下高(区民委員)

第 5 期宮前区区民会議委員の皆さん

これからよろしくお付き合いします!

青木満治(宮前区社会福祉協議会) 青柳和英(公明) 大木大郎(宮前区スポーツ推進委員会) 太田公子(区民委員) 大槻幹雄(宮前区地域教育会議) 小田真子(区民委員) 菊池真子(宮前区こども・子育てネットワーク会議) 川田和子(宮前区全期内・自治会連合会 津田地区) 川田武敏(公明) 黒澤克實(宮前区全期内・自治会連合会 向日地区) 市川謙(宮前区文化協会) 佐々木良尚(区民委員) 鈴木晴夫(区民委員) 滝本久美(みやま未来協議会) 田辺洋一郎(向日地区まちづくり協議会) 中里文雄(宮前区民生委員・児童委員協議会) 藤谷真子(宮前区まちづくり協議会) 本郷一雄(フロンティア 21 みやま未来協議会) 宮崎孝(宮前区商店街連合会) 山田桂(宮前区全期内・自治会連合会 宮崎地区)

といあわせ

- ホームページで区民会議の経緯、スケジュール、過去の期も含めた会議資料や議事録等が公開されています。「宮前区区民会議」でご検索ください。
- 区民会議の全体会は先着 50 名。専門部会は会場により先着 5～10 名まで会議の開催が可能です。ご興味のある方はぜひお越しください。
- 区役会議に対するご意見、ご要望などお寄せ下さい。今後の議論の参考とさせていただきます。

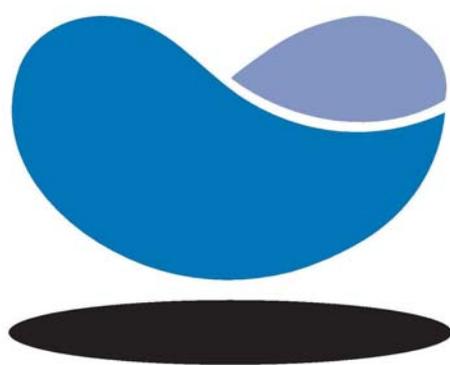
〒216-8570 宮前区役所企画課
TEL：044(856)3136、FAX：044(856)3119、
メール：69kikaku@city.kawasaki.jp

● 今後の予定 ●

第 5 期
第 1 回宮前区区民会議
全体会

4/25 (金) 18:00～19:30
区役所大会議室

新たな委員で新たにスタート
今後とも区民会議を
よろしくお願いたします。



宮前区

発行 宮前区区民会議
編集 宮前区区民会議事務局
(宮前区役所企画課)
所在地 川崎市宮前区宮前平2-20-5
電話 044-856-3133
FAX 044-856-3119
メール 69kikaku@city.kawasaki.jp